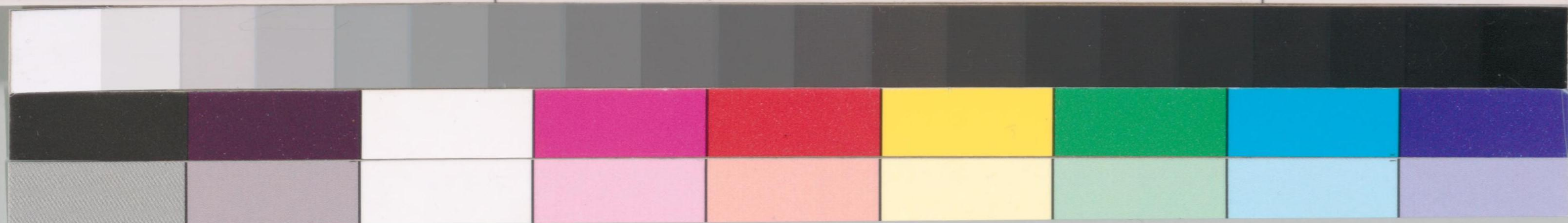


スライン氏講義筆記

上

文  
見  
徳





「スタイン氏」講義

「スタートツウールシエファルング」国ノ由来

「スタート」国ハ如何シテ成立タルモノナルカト云  
フ問題ニ付テハ古来種々ノ説アリトイヘ氏之  
ヲ約言スレハ左ノ四項ニ止ル第一上帝ノ作為  
シタルモノ、第二腕カヲ以テ強ノ弱ヲ合セ成立  
タルモノ、第三「フェルトラ」契約上ニ成立タルモノ、  
第四人間ノ天性ヨリ成立タルモノ是ナリ現今  
學者ノ論シテ以テ最モ至理トナス所ノモノハ  
則第四ノ説ニアリトス



第一 上帝ノ作為シタルモノ

第一ノ説ハ「ヒエラルシ」即僧侶ナルモノノ国ノ上位ニ立チ一切上帝ノ命ニ由リ国政ヲ為スト云フニマリ之レ名ヲ神ニ仮リテ實ハ已レカ欲スル処ヲ擅ニセントスルモノナリ此政体ヲ称シテ「テオクラチー」ト云フ即僧侶政事ト云フ意義ナリ古埃及、西藏、又ハ古土留古等ノ政体ノ如キ是レナリ

「カトリック」宗ハ恰モ此「テオクラチー」ト相似タルモノニシテ數多ノ僧侶ニ於テ一人ノ高僧ヲ置

キ之ヲ以テ神ノ代人トシタルモノナリ羅馬法皇是レナリ之レ素ヨリ「キルヒエ」即寺院ニシテ「スタート」ニアラス然レモ亦タ其宗旨中ノ「スタート」ヲナシタルカ如キモノナリ

然ルニ已レノ宗教ヲ国教トナス国ハ皆已レニ從ヒタルモノ、如ク見做シ「スタート」ハ然ラストスルカ故ニ「キルヒエ」ト「スタート」ノ間ニ紛紜ヲ生セサルヲ免カレサルナリ

「テオクラチー」若シクハ「カトリック」宗ノ主義ハ人民ヲシテ「ヒエマニテート」人間ノ本原ヲ考フルヲ禁ス





ルニ在リ然ラサルトキハ神ハ人ニアラスト云  
フイヲ悟ルヲ以テナリ是ノミナラス世間百般  
ノコヲ不分明ニシ一切物ノ道理ヲ究ムルコ  
嫌忌スルモノトス故ニ完全ナル「スタート」ニシテ  
善良ナル人民アルニ於テハ決シテ此宗教ヲ信  
仰セサルナリ  
抑々宗教ノ事ハ廣キ精神ヲ以テ論理スルニ在  
リ之ヲ「クルツール・カンプト」云フ故ニ「スタート」一般自  
由ノ発達シタル処ハ宗教ヲ行政ノ一部即教育  
ノ部ニ於テ管轄セリ「テオクラチー」ハ之ニ反シテ

政事ノ主權ヲ有スルモノナリ之レ開化國ト  
異ナル処ナリ  
歴史上ニ徴スルニ太古ハ人間矇昧ナルヲ以テ  
「テオクラチー」ヨリ起リ漸次ニ純然タル「スタート」ヲ考  
ヘ出シ遂ニ宗教ヲシテ行政ノ一部ニ押込ムル  
ニ至レリ政事家ノ宗教上ニ注目スヘキ点ハ宗  
教ノ精神上ノ教化ニアラスシテ其宗教ノ組織  
ヲナシ「コンフェッショニ」トナルニ及ンテ其「コンフェッショ  
ニ」ナルモノ「スタート」ニ望ヲ有シ政事上ニ干渉ス  
ル企望アルカ否ヲ見ルニアリ「コンフェッショニ」ト



ハ何ソヤ其宗教ノ信仰者ヲシテ他疑ナク一途  
ニ之ヲ信仰セシメ又ク他ニ思考ヲ用シメス以  
テ宗教ノ精神ヲ發達セシメカクノ組織シタルモ  
ノヲ云フナリ予ヲ以テ見レハ佛教ナルモノハ  
「コンフエツシオン」ニアラステ「フロフエツソール」大學校  
ノ教官ノ如キモノナリ故ニ佛教ハ政事ニ關係  
ナキモノニシテ「スタート」ニ妨害ナキモノトス日  
本及支那ノ如キ專制國ニ行ハルノ所以ナラレ  
又ク「アラマイスム」ナルモノアリ印度ニ行ハル宗  
教ナリ其「コンフエツシオン」ハ不完全ナルモ「テオクラチ

」ニ近キ性質ヲ有シタルモノニシテ僧侶ノ支  
配スル処「テオクラチ」ニ近キモノナリ  
「カトリシスム」ハ宗旨上滿天下ヲ支配ストイハレ  
「スタート」ヲ欲セサルモノナリ之ヲ再言スレハ「ス  
タート」ノ君主トナル「ハ」欲セサルモ我宗教ノ信  
仰上「スタート」ニ關スル「ハ」天下一般ニ之ヲ總括  
シ最上ノ主トシテ支配スルト云フニ在リ其結  
果タル法皇ニ於テ「スタート」ノ彼此ノ事ハ我宗教  
ノ為メニ必要ナリトシテ命令スル場合ハ「スター  
ト」ニ於テ之レニ故障スル「ハ」ナク行ハシムル「ハ」

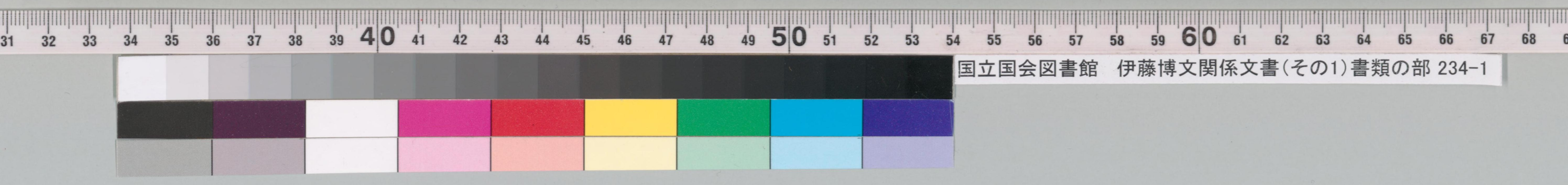


ヲ望ムモノナリ故ニ政府ニ於テ宗教ニ對シ不  
利ヲ與ハサルニ於テハ「スタート」ノ臣僕トシテ從  
フモ政府ノ命令一ツモ不利益トナルヲ得ルハ  
宗教上ノ名ヲ以テ之レニ從ハサルヲ得ルナ  
リ  
「カトリック」宗「スタート」ニ對シテ曰ク「スタート」ノ君主  
ハ之ヲ戴クヘシ故ニ我カ信徒ニ害ヲ加ハサル  
様ナサハルベカラスト然ルニ一方ハ信徒ニ向  
テ巧ニ言ヲナシテ曰ク人ニ從ハシヨリ寧ロ神  
ニ從フベシト是レ「スタート」ナル語ヲ略シテ人民

ヲ籠絡セントスルモノナリ是レ其歴史上ニ著  
シキ慘状ヲ呈シタル所以ナリ其甚シキニ至テ  
ニ宗徒ニシテ宗教ノ命ニ從ハサルモノヲ戮シ  
或ハ國王ヲ強迫スルニ殺スベシトノ書面サヘ  
送ルニ至レリ  
右ノ主義ヨリ成立タル「エズイット」ト云フ一派ノ  
宗旨アリ其主義タルヤ何等ノ事ニ関セス一切  
法皇ノ命ニ從ハサルヘカラス又タ目的ハ手段  
ヲ償フモノナリト云フニアリ其意義ヲ解釈ス  
ル片ハ目的ノ善ナルモノハ如何ナル手段ヲ行

文見徳

禮部





フモ不可ナシト云フ精神ナリ由是觀之「ヒエラ  
シ」ハ「スタート」ノ公敵ニシテ「カトリシス  
ムス」ト「エツ  
イット」ハ政府ノ命令ニ反對スル以上ハ甚ク危  
害アルモノト云フベキナリ現ニ日本ニ於テ宗  
教ヲ嫌惡シテ之ヲ排斥セントシタルニ争乱ヲ  
生シタル經驗アラシク今若シ宗教ヲ自由ニシ  
「カトリック」宗ヲ信仰セシメタルモノトセン  
カ其宗教上ニ關スル「ト」ハ百事羅馬法皇ニ  
從フベシト命シタルガ如キモノナリ是レ高等  
警察上深ク意ヲ注キ干涉スヘキ要件ナリト云  
ハ「ザル」ヘカラ

サルナリ

又「エジワレゲリスムス」所謂「プロテ  
スタント」宗

ナルモノアリ「諛宗」ハ完全ナル「コン  
フェッション」

ヲ有スルモノニシテ其主義トスル處ハ信仰  
學

問ハ各自ノ欲スル處ニ任シ而シテ政事上ノ  
事

ハ毫モ干涉スル「ト」ヲ得スト云フニ在リ  
故ニ更

ニ「スタート」ニ危害ナキモノナリ然ルニ  
「プロテ  
スタント」宗ト「カトリック」宗トハ「ス  
タート」内ニ

於テ軋轢ナキヲ保タサルモノアリ其点ハ  
蓋シ

教育上ニ外ナラサルカ如シ何トナレバ  
「カトリ





ツク宗教ハ人民ヲシテ唯己レノ宗教ヲ之レ株守  
セシメ教育ノ自由ヲ好マズシテ智識ノ發達ヲ  
嫌フモノナリ「プロテスタント」宗ハ之レニ反シ  
テ教育ノ自由ヲ希フニ在レバナリ是レ此ニ宗  
教アル国ニ於テ軋轉ナキヲ免カレサル所以ナ  
ラレ  
今此ニ宗教ノ外面ニ顯レタル異別ノ点ヲ述レ  
ハ「カトリック」宗ヲ國教トスル国ニ於テハ僧侶  
ニ於テ小学校ノ教員トナリ而シテ其教育ハ普  
通ノ教育ト異ニスルヲ望ムニアリ故ニ大學校

中神学課ナルモノハ全ク之ヲ區別セリ即仏国  
ノ數部及伊國・西國・等是レナリ「プロテスタント」  
宗ヲ國教トスル国ニ於テハ之ニ反シテ僧侶ノ  
教育トイハレ一般普通ノ人ト同一ニスルニ在  
ルナリ  
宗教上ノ沿革次第如右今之ヲ約言スレハ最初  
ハ所謂「テオクラーチー」ニシテ「スタート」ト宗教ト  
ノ事務ヲ混合シテ一手ニ有シタルモノナリ然  
ルニ「カトリック」宗ナルモノ起リ「スタート」ト「キ  
ルヒエ」トハ混同スベカラザルモノトナシ而シ



テ「スタート」ハ「キルヒエ」ニ對シ巴レノ命令ニ從  
ヒ吳レシトヲ依頼シテ服從セシメタルカ如キ  
有様ナリ  
其後巴レノ「ゴンプエツシオ」ハ獨立シタルモノ  
ナリ各人ノ信仰スル處其欲スル處ニ從フベシ  
寺院ノ命令等外部ノ「スタート」ノ命令ニ從  
ハサルベカラズト云フノ宗教顯出セリ之レヲ  
「スタート」宗ナリ  
「キルヒエ」ハ僧侶ノ結社ニシテ  
法皇カ直接間接ニ其僧侶ヲ進退シ而シテ其

生活上一般社會ト異ニスルモノナルモ「プロテ  
スタント」ノ「キルヒエ」ハ之レト異リ恰モ「ゲマイ  
ンデ」町村ノ自治區ノ如キモノニシテ宗徒ハ尚  
其「ゲマインデ」中ノ一人ノ如キモノナリ  
以上「テオクラチー」ノ政体ヲ説クニ當テ其政  
体ヨリ生シタル成果即宗教ヲ生シタルトテ説  
キタルモノナリ今予ガ辨ヲ俟タサレハ上陳ノ  
如ク「テオクラチー」ハ僧侶等ガ人民ノ矇昧シ奇  
貨トシテ巴レノ欲スル處ヲ逞セントスルニ在  
ルナリ然レモ是レ實ニ「スタート」成立ノ創メナ



リトス  
第二ノ説ヲ歴史上ヨリ考フルルハ或ル点ニ付  
テハ真ナルカ如キ感覺ヲ生ストイヘトモ之  
レ唯僅カニ理由ヲ存スルノミ候令ハ今茲  
ニ何レカカアルモノ「スタート」ヲ作為シタリ  
トセシカ其人ハ他人ヲ服従セシムルハカ  
ルモノナリ故ニ「スタート」ハ腕カヲ以テ成立  
タルモノナリト云フ説ヲナスニ至レルノミ

之レヲ再言スレハカニ依テ服従ヲ生スルモ  
ノナリカニ頼ツテ主治者ト被治者ノ區別  
ヲナスモノナリ故ニ「スタート」ハ腕カヲ以テ  
成立タルモノナリト云フ説ハ少シク道理アル  
カ如クナルモ決シテ正當ノ理由トナスニ足ラ  
サルナリ  
如何ントナレハカナルモノハ「スタート」ヲ生出ス  
ルモノニアラズシテ「スタート」ノ内ニ在テ他人  
ヲ服従セシムルヲ生スルニ止ルモノナリ此  
カヲ組織シタルモノハ則兵隊ニシテ「スタート」



ハ此兵カヲ以テ成立タルモノナリト云フ主義  
ヲ「ミリテールスタート」ト云フ是レ何等ノ事ニ関  
セス兵カヲ以テ抑壓スルモノニシテ前ニ述  
ヘタル「テオクラチー」即チ「キルヒエンスタート」ノ  
如キ政体ト相對スルモノナリ  
此「ミルテールスタート」ノ最モ強大ナルモノハ  
侵略ヲ之レ事トスルヲ以テ主義トスルモノ  
ニモテ此國ニ於テハ多クハ権カヲ有スル大  
將之レカ君主ト為ルニ在リ往時羅馬ノ盛大  
ヲ致シタルモ亦タ全ク「ミリテールスタート」

ノ主義ヲ取り侵略ヲ是レ事トシタルノ結果  
ナリ  
故ニカナルモノハ「スタート」中ノ一ツノ必要物  
ニシテ恰モ上陳ノ「キルヒエンスタート」ハ「スタ  
ート」ニアラスシテ行政ノ一部ニ属シタルカ如  
キモノナリ故ニカヲ以テ「スタート」ヲ成立シ  
メタルモノナリト云フトキハ亦タ其カヲ製  
造シタルモノナラルヘカラサル道理ナレハ「ス  
タート」ハ腕カヲ以テ成立タルモノナリト云フ  
ハ當ヲ得タル説ニアラサルナリ





第三 「フエルトラーケ」 契約上ニ成立タ

第三ノ説ニ由レハ人間ハ各自ラ已レテ支配ス  
ルノ権カヲ有スルモノナルカ故ニ契約上其上  
ニ一ツノ大ナル権カヲ置キ以テ一般ヲ支配ス  
ト云フニ在リ然ルニ古来之ヲ解釈スルニ種々  
ノ論説ヲ以テセリ則第一千七百年代ニ於テ英  
人「ホッペス」ナルモノ之ヲ論シテ曰ク凡ソ人  
タルモノハ各必ス最上権ヲ有スルモノナリ故  
ニ二人集リタルキハ各々之ヲ有スルヲ以テ之ヲ

他人ニ及シキ万人相集ルキハ又タ等シク互ニ  
他ニ及ホスモノナリ故ニ其間ニ争擾ヲ生セサ  
ルヲ免カレサルナリ此困難ナル有様ヲ称シテ  
「ナツールシユタレド」自然ノ有様ト云フ於是カ其困  
難ヲ免カレンカタメ人々互ニ契約ヲ結ヘリ其  
契約ノ順序ニ三マリ第一最初ハ各人相結合ス  
ル処ノ契約ヲナシ次ニ其結合ノ成ルニ至テ一  
ツノ権カヲ設ケ皆其権カニ従ハサルヘカラス  
トナシ之レニ亞クニ其権カヲ用井ル処ノ主領  
ヲ置キ一切ノ権カヲレテ其主領ニ與ヘタルモ



ノナリト云ヘリ  
今之ヲ第一ノ「スタート」ハ上帝ノ作為シタルモ  
ノナリト云フ説ト第二ノ「スタート」ハ腕刀ヲ以  
テ成立タルモノナリト云フ説ヨリ見レハ知メ  
テ「スタート」ハ人間ノ希望ヨリ成立タルモノナ  
リト云フニ在ルヲ以テ先ツ進歩シタル説ナリ  
ト云ハサルヘカラサルナリ  
然ルニ此説ニヨレハ國ノ權利ハ一個人ノ取結  
タル契約即企望ナリト云フニ在ルヲ以テ其結  
果ハ君主專制トナルモノナリ然レモ之レ實ニ

知ヲ世上ニ奏シタル説ニシテ是ヨリ「スタート」フ  
ヒロゾフヒレ國法理学ナルモノ起リ「スタート」ハ人  
間ノ思考ヲ以テ制定シタルモノナリト云フト  
ナリタルモノナリ  
此理学ニヨレハ立法行政ノ權ハ君主一人以テ  
之ヲ有シ無責任ニシテ之ヲ行フモノナリト云  
フニアリ然ルニ此「フヒロゾフヒレ」ノ傍ラニ又タ一  
ツノ説起レリ即チ蘭人「フーゴグロテウス」ナルモノ、  
説是レナリ其説ニ曰ク各人ハ已レノ身体ト共  
ニ權利ヲ有スルモノニシテ神モ之ヲ奪フ不能



ハス況ンヤ人ニ於テヤ「ホツベス」ノ説ハ之レニ及レテ契約ヲ以テ其權利ヲ奪フ  
ト云フ而シテ此權利ヨリシテ自由ヲ生スルモ  
ノナリ此自由權利ヲ以テ「ナツールレヒト」性法ト  
云フト云ヘリ  
以上ニ説其一ハ專ラ「スタート」ト云フヲ考察シ  
テ權利ニ及ハス其一ハ「レヒト」即權利ト云フ  
ヲ穿鑿シテ「スタート」ニ及ハス然ラハ則此ノ二  
説ハ一長一短アルヲ免ヤレサルモノト知ルベ  
シ故ニ示後ノ「フヒロゾフヒト」ハ「スタート」国  
トシ權利ノ「ツーザンメンハンク」即合一混用スル

ノ理ヲ推究スルヲ之レ勤メタリ千八百年来  
ニ至テ此説頻リニ起レリ然ルニ同時佛人「ル  
ソ」ナルモノ説ヲナシテ曰ク「グライヒハイ」即  
各人ハ皆同等ナリ故ニ「スタート」ナルモノアル  
モ亦皆同等ナラザルベカラヌ又タ曰ク人民一  
般ノ企望ナルモノハ最上ノ権カアルモノナリ  
故ニ各人ハ此人民ノ最上権ニ従ハサルベカラ  
スト而シテ緊要ナル「スタート」ノ最上権ナル  
ヲ云ハザリシ「ハス」ノ説ハ此ノ理ニ依リテ  
今夫レ「ルソ」ノ説ヲ推スキハ別ニ国王ナルモ



ノナリ人民ノ集リタルモノヲ以テ国主ナリト  
云フカ如シ故ニ人民ハ皆政事ニ與ルノ權利ヲ  
有シ而シテ其政事ニ從フモノナリト云フニ在  
リ然ラハ則チ自ラ已レニ從フト云フノ道理ニ  
シテ自由ト云フ点ハ唯僅ニ其政事ニ與ルト云  
フニ過キスレテ他ニ自由ヲ得ル処アラサルカ  
如シ

又「ル」<sup>1</sup>「ク」<sup>1</sup>ハ各人皆同等ナリ此同等ヨリシテ一  
般ノ企望ヲ生スルモノナリ各人ハ已レノ同明  
ヲ愛セサルベカラスト云ハリ故ニ他國ノ主義

トスル処ノ「フ」<sup>1</sup>「ライ」<sup>1</sup>「ハイト」<sup>1</sup>「グ」<sup>1</sup>「ライ」<sup>1</sup>「ヒ」<sup>1</sup>「イト」<sup>1</sup>自由同等及  
「ブリ」<sup>1</sup>「ユ」<sup>1</sup>「テ」<sup>1</sup>「ル」<sup>1</sup>「ヒ」<sup>1</sup>「カ」<sup>1</sup>「イト」<sup>1</sup>兄弟視スルコトヲ生スルニ至リ  
タリ

此説タルヤ數百年ノ經驗ニ成リ人皆感喜シタ  
ルモノナリ然ルニ「ル」<sup>1</sup>「ソ」<sup>1</sup>「ト」<sup>1</sup>ノ説ヲ一説トシテ見  
ルニ亦タ尚欠点ノアルアリ何ヲカ欠点トス曰  
ク「ル」<sup>1</sup>「ソ」<sup>1</sup>「ト」<sup>1</sup>ハ何故ニ人民ノ中ニ反對者アリタル  
キ多數ハ少數ヲ壓スヘシトノコトヲ云ハザリシ  
ヤ他國ハ多數ヲ以テ少數ヲ壓スルノ精神ヨリ  
憲法ヲ設ケタルモノナリ何トナレハ他國三千

見  
憲

社  
庫





五百百ノ人民ヲ舉テ招集シ會議ヲ開クヲ得サ  
ルヲ以テ勢ヒ代人ヲ立テサルベカラサルカエ  
ハナリ然ラハ則チ其代人ナルモノハ果シテ人  
民企望ノ代人ナルヲ定メサルベカラス故ニ  
其代人ノ撰擧法ナルモノ起ルナリ而シテ其代  
人ノ集リタルモノヲ立法院ト云ヒ此立法院ニ  
於テ定メタル処ノ企望ヲ「ゲゼッツ」即法律ト云フ  
茲ニ於テカ初メテ法律ナルモノヲ生ス而シテ  
此法律ナルモノハ最上ノ権カヲ有シ一般人民  
ノ上ニ行ハルモ、モノトシタルナリ既ニ人民

ノ企望ナルモノハ最上ノ権カヲ有スルモノニ  
シテ人民ハ則チ人民ノモノナリト思惟セシヨ  
リ遂ニ皇帝ハ無用ノ贅物ナリト云フニ至レリ  
是其一大革命ヲ生シタル所以ナリ  
此時ヨリシテ一般ニ共和ト自由ト同一視スル  
カ如キ弊ヲ生シ各国皆共和ハ自由ノ代人ナリ  
ト見做セリ之レ大ナル誤リナリトス他ナシ共  
和政事ナリトテ必ス自由ヲ得ルト云フモノニ  
アラス現ニ共和国ニシテ古来非常ノ壓制ヲナ  
シタル国アリ即「ウエズ」デヒノ如キ是レナリ然ラ





ハ則チ自由ヲ欲シテ共和ヲ憑ムハ之レ大ナル  
誤リニシテ共和主義ヲ嫌フモノハ自由ヲ欲セ  
ス共和主義ヲ好ムモノハ自由ヲ欲スルカ如キ  
思想ヲ懐クハ時ノ風潮ヨリ来リタル一大弊害  
ナリト云フベシ日本ノ如キモ亦タ此思想ヲ有  
スルモノノ生スハキハ數ノ免カレサル所ナリ  
ベシ依之觀之政事家タルモノ深ク顧ミ遠ク慮  
リテスタートトノ基礎ヲ堅牢ナラシムルコト之レ  
賢ヲサレハカラザルナリ今予カ言ハ當ヲ得タ  
ルヤ否ヲ判セント欲セハ一言以テ知ルヲ得ベ

キナリ曰ク共和政事ハ多數ノ「アプソルテスムス」即專  
制政治ト云フ是レナリ其理由ハ予カ辨ヲ俟タ  
ストイヘモ亦タ其議論ノ實際ニ出ツルヲ以テ  
聊カ之ヲ述ヘントス夫レ共和国ニ於テハ党派  
ノ多數ヲ占ムルモノ自由ヲ得ルトイヘモ少數  
ハ必ズ多數ニ壓制サルカ故ニ此一言炳乎ト  
シテ共和ト自由ト相混規スベカラサル所以ヲ  
了解スルナラン然ラハ則チ少數モ亦タ多數ト  
同シク自由ヲ得セシムルノ方法ハ如何ト云フ  
ノ緊要ナル問題ヲ生スルナラン今此問題ヲ了



解セント欲セハ人民ノ「スーブレニテ」最上権ナ  
ルモノハ真ノ最上権ナルヤ否ヲ正シ又其最上  
権ヨリ顕出シタル法律ヲ以テ人民ノ企望トス  
ルハ尚其他「スタート」中ノ關係ヲ支配スヘキ處  
ノ緊要ナル「ウイール」企望ハアラサルカト云フ緊  
要ナル問題ヲ生スルニ至ルベシ勿論法律ノ名  
ヲ以テスルモノハ他ニアルニアラストイヘ  
茲ニ實際欠クヘカラサル處ノ必要ナル政府獨  
立ノ「ウイール」即企望ナルモノアリ此「ウイール」ハ法  
律ト匹敵スル重キ権カヲ有スルモノナリト云

ハサルヘカラサルナリ  
是ニ由テ之ヲ觀レハ人民ノ契約ヲ以テ最上権  
ヲ設クルト云ヒ又其契約ナルモノハ「スタート」ノ  
本ナリト云フ説ハ誤謬ト云ハサルヘカラス蓋  
シ契約ナルモノハ「スタート」中ニ於テ一部ノ自  
由ヲ人民ニ與フル而已ニシテ其之レカ「スタート」  
ヲ作為スルヲ能ハサルヲハ分明ナルニ至ルヘ  
シ如何トナレハ立法院ニ於テ設クル處ノ法律  
即一般ノ「ウイール」ナルモノハ未タ「スタート」ニアラ  
スレテ其傍ヲニ行政ナルモノアルヲ以テナリ



此行政ナルモノハ立法ノ命スル処及其足ラサ  
ル処ハ自ラ獨立ノ「ウイール」ヲ行フモノナリ故ニ  
彼ノ契約ノ原素タル人民ノ希望ハ則チ立法院  
アツテ之ヲ云ヒ顯スニ止リ僅カニ「スタート」ノ一  
部ヲ為スモノト知ルベシ然ラハ之ヲ以テ直ニ  
「スタート」ナリト云フコトヲ得サルハ亦タ言ヲ俟タ  
ザルナリ  
然ルニ此契約論若クハ共和政体ナルモノハ立  
法権ノ傍ニ執行権ヲ置キ君主ハ其執行権ノ上  
ニ在ルモノト云フノ説ニシテ行政ノ精神ナキ

モノニアラストイハレ亦タ唯立法権ノ望ヲ執  
行スルニ止マリ毫モ已レノ職権ヲ以テ「スタート」  
ト為シ獨立ノ企望ヲ行フノ權利ヲ有セサルモ  
ノナリ故ニ若シ法律ナキハ執行権ノ用ル所  
ナキハ亦タ見易キノ理ナリ此理ヲ以テ之ヲ推  
セハ自由ヲ與フベシト云フテ之ヲ與ヘス又タ  
之ヲ実行スベシト云フテ之ヲ實行スルコトヲ得  
サルベシ如何トナレハ其執行スヘキ法律ナキ  
キハ政府獨立ノ權利ヲ以テ一般ノ企望ヲ行フ  
コト能ハサルヲ以テナリ故ニ真ノ自由ヲ與ヘ真



ノ生活ヲナサシメントスルキハ彼是偏頗ナク均  
一ニ其望ヲ充タシムヘキ処ノ官職ヲ置カサル  
ハカラサルナリト云フハ其持論望ハ別カサル  
第四ノ説ハ上ニ述ヘタル三説ヲ論破シタル最  
モ秀逸ナル説ニシテ現今學者ノ論シテ以テ至  
理トナス処ナリト云フハ其持論ハ昔ヨリナリ  
夫レ「スタート」ナルモノハ人間一般ノ生活ヲ含有  
セサルヘカラサルモノニシテ「スタート」即「ス

ター」ノ意義ハ一般人間ノ生活上ノ關係ヲ網羅  
シタル一致ノモノナリト云フニアリ是レ實ニ  
確論ナリト云フベシ故ニ獨リ前述諸家ノ言ヨ  
リ其他ノ説ヲ含有スル而已ナラス凡ソ人間ノ  
生活ニ関スル一切ノ事物ヲ網羅シタル恰モ一  
ク人ノ如キモノニシテ社會ノ最高点ニ在テ而  
シテ最高等ノ事ヨリ最下等ノ事ニ至ル迄彼是  
貫通シ而シテ此精神ハ百般ノ問題ニ對シテ至  
ル処ニ涉ラサルヘカラサルモノナリト云フ  
今茲ニ「スタート」即「スタート」ノ意義ヲ述ヘシニ



「スタート」トハ人間ノ「ゲマイニシヤフト」即團結ヲ人ト  
見做シタルモノナリ故ニ「スタート」ハ人ノ如クニ  
出生シ人ノ成長スルカ如クニ成長シ而シテ盛  
ニナル「スタート」トナリ又人ノ老衰スルカ如クニ  
老衰シ遂ニ死スルモノナリ是高貴ニ去リ  
蓋「スタート」ノ榮枯死生ヲ知ルモノハ歴史ニシテ  
各「スタート」ハ恰モ各個人ニ履歴アルカ如シ又各  
個人ニ「インヂウイヅアリテ」即各自天然固有ノ性  
質アルカ如ク「スタート」モ亦タ各有ノ性質ヲ有  
スルモノナリ此「スタート」ノ彼是レ交際往來シ或

ハ喧嘩シタル事實ヲ記載セシモノハ則チ万国  
史ニシテ一ノ「スタート」ナルモノ他ノ「スタート」ト交  
際ヲ為スニ至テ始メテ万国史ニ入ルモノナリ  
而シテ各個ノ「スタート」相互ニ影響ヲ及ボス所以  
ノモノハ猶一々人カ相互ニ交際ヲナシテ進歩  
スルカ如ク其進歩ハ遂ニ全世界ノ進歩トナル  
モノナリ何人トイハレ一人以テ登達スルヲ  
得サルモノナルヲ以テ日本ノ如キモ他ト交際  
ヲ為サルニ於テハ今日ノ進歩ヲ見ザルヤ必  
セリ



既ニ「スタート」ヲ以テ人ト見做セハ猶人ニ機関ヲ  
ルカ如ク「スタート」モ亦タ機関ナカルヘカラス而  
シテ人其性質ニ由テ些少ノ異同アルカ如ク「ス  
タート」ノ機関モ亦タ異同ナキニアラス然レモ普  
通ノ「オルガニスム」機関ハ何レノ国トイヘモ同一  
ナルモノニシテ之ヲ識ラズル学問ヲ「スタート」ウ  
イシエシヤフ「政事学」ト称ス而シテ其「オルガニスム」  
ノ部分ニ各一ツノ学問アリ故ニ学問ノ數モ亦  
タ其部分ニ從テ數門ニ分ル然レモ学問ノ基礎  
トナルモノハ唯一ノ「スタート」ノモ

又「スタート」ノ「オルガニスム」ヲ人ト見做セハ必ス身  
体ナカルヘカラス之レ即「レド」ナリ既ニ身体ア  
レハ又精神ナカルヘカラス之レ則チ人民ナリ  
然ラハ則チ身体ト精神アツテ知メテ人ト称シ  
得ヘキヤ否他ニ尚一ツノ緊要ナルモノアリ何  
フヤ曰ク「イヒ」即我レト云フ是ナリ「イヒ」即我レ  
ナルモノハ恰モ一個人カ他人ニ對シテ已レノ  
身分ニ關スル百般ノ事ヲ代表スル如ク亦タ必  
ス「スタート」ヲ代表スルモノナカルヘカラス是レ  
則國王ナリ而シテ其「スタート」ニ「ウイール」企望ナル



モノアリ是レ即立法院ニシテ其企望ヲ行フモ  
ノヲ執行官ト云フ此三者ハ常ニ相俟テ働キヲ  
ナスヘキモノニシテ茲ニ初メテ人タルノ性質  
ヲ顯ハスモノナリ  
此三者ノ相俟テ働キヲ為スヲ「フエルワング」即  
行政ト云ヒ国主ニ於テ立法院ト行政官ヲ集メ  
テ「スタート」ノ為メ企望ヲ定ムル其順序法ヲ「フエル  
フアウズング」即憲法ト云フ蓋各企望ノ出ル処ニ於  
テハ以上三ツノモノ備ハラサルヘカラス今「ス  
タート」ノ全付ヨリスレバ則立法院ハ之ヲ決議シ

警社願

国主ノ之レヲ認可シ執行官ハ之ヲ執行スルモ  
ノナリトス故ニ立法權ト行政權ヲ分離スル  
ハ憲法上定ムヘキノ要点ナリト知ルベシ  
以上三者ノ部分ヲ一致シ因滑行ナハル、  
講スル學問ヲ「ポリテック」ト云ヒ憲法上「スタート」ノ企  
望ノ「オブゼリ」ト目的物ノ如何ニ由テ「スタート」ノ行  
フベキ規矩準繩ヲ識ルノ學問ヲ「フエルワング」スレ  
「即行政學ト云フ此行政學ハ「スタート」ノ「オルガヒ  
スム」ノ各部ニ付テ研究セザルヘカラザルモノ  
ナリ則其一部タル土地ノ事ヲ研究セントスル

警見憲





モ亦夕専門ノ學問アリ猶天然ニ由テ之ヲ研究  
スル學問ヲ二種ニ分ツテ「ゲオクラーフィー」地理學ト  
「ゲオロギー」地質學トナスカ如シ然レト此二種ノ  
學問ハ全ク「スタート」ニ關係ナキモノナリ  
夫レ「スタート」ハ上陳ノ如ク生息スルモノナリ故  
ニ其身體タル國土ノ如キモ亦夕働キヲナスノ  
組織ヲナサバハカラス是レ政治上ノ區域ノ  
由テ生スル所以ナリ此區域ニ二種ノ大別アリ  
第一ハ「スタート」ナル一定ノ基礎ナリ自然ノ經歷  
ニ由テ成立タル區域ニシテ之ヲ歷史上ノ區域

ト云フ第二ハ行政上ノ區域ニシテ此區域ニ二  
種ノ性質アリ一ツハ「スタート」ノ主義ヲ以テ其職  
務ヲ分掌セシムル為メニ設ケタルモノニシテ  
此區域ハ必ス行政上ノ「ツウエックメーシヒョイト」即其  
目的ニ違ハスレテ便宜ニ定メサルベカラザル  
モノヲ云フ又全国一般普通ノ行政區ノ外尚各  
部ノ行政ノ為メニ區域ヲ定ムルコトアリ例ハ  
租稅軍事山林等ノ為メニ設クルカ如キ是レナ  
リ而シテ其一ツハ自治ノ「コルポラチオン」結社ニ関  
スル區域ニシテ是レ所謂「ゲマインデ」即恰モ日本



ノ町村會ノ一區域ノ如シ  
上陳ノ如ク行政上ノ區域ハ必ス二種ノ區域  
由ラサルヘカラス故ニ歴史上ノ區域ヲシテ行  
政上ノ區域トスルコトアリ  
澳國ニ於テ其區域ヲ「ランド」ト稱スルモノハ旧時  
皆一ツノ「ランド」即國ヲナレタルモノナルカ故ナ  
リ普國ハ別ニ行政上ノ區域ヲ定メタルモノニ  
シテ「プロビンツ」州ト云ヒ「レギールンダスベチルク」縣ト云  
フ皆之レ行政上ノ都合ニヨツテ定メタル區域  
ナリ英國ノ如キハ「スタート」ノ目的ヲ以テ定メタ

ル行政區ナルモノナリ皆「コルボラチオー子」即自治  
區ヲ以テ成立タルモノナリ佛國ノ如キハ大革  
命前ニアツテハ歴史上ノ區域ヲ以テ行政區ト  
シタルモ革命後ニ至ツテハ更ニ行政區ヲ新設  
シタルナリ歴史上ノ區域ヲ以テ行政上ノ區域  
ニ充ツルモ慣習上及實際上ノ都合ニ故障ナキ  
キハ更ニ行政上ノ區域ヲ定ムルニ及ハサルヤ  
論ヲ俟タサルナリ故ニ新クニ行政上ノ區域ヲ  
定ムルハキノ要用アツテ之ヲ設クルキハ自ラ之  
レカ政略ヲ要スルモノトス顧ミサルヘカヲサ

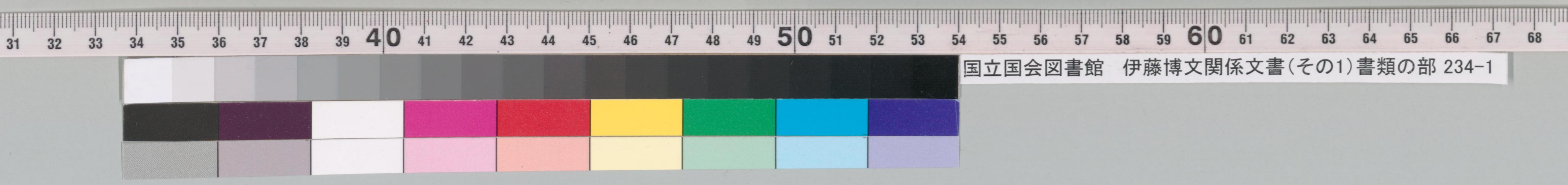


ルナリ「ガイスト」精神タル所「フォルク」ニ付テハ  
種々ノ関係ヲ有スルモノナレバ故ニ先ツ「フォ  
ルク」トハ如何ナルモノヲ云フカヲ説カサルハ  
カラサルナリ「ガイスト」精神タル所「フォルク」ニ付テハ  
抑「フォルク」ナルモノハ慣習風俗生活等ヲ同義スル  
人ノ集リタルモノヲ云フナリ時トシテハ土地  
ヲ同フスト言フコトヲ得ヘシトイヘバ必シモ土  
地ヲ同スルモノニアラス例ハ猶太人ノ如キ  
ハ皆土地ヲ同セスレテ各国ニ散在シ而シテ尚

警社

猶太ノ「フォルク」ヲ為セリ是レ唯其「フォルク」ヲナス  
而已ニシテ「ランド」土地ナキカ故ニ「ガイスト」ヲ為ス  
コトヲ得サルモノナリ「ガイスト」精神タル所「フォルク」ニ付テハ  
以上ノ簡短ナル見解ヲ以テスルハ「フォルク」ノ  
意義猶邈然トシテ明ナラサルモノ、如シ故ニ  
方今ニ至テ其意義ノ區別ヲ立テ之ヲ明ニセン  
トスルニ至レリ其別尤ノ如シ「ガイスト」精神タル所「フォルク」ニ付テハ  
第一人ノ或ル処ニ集合シタルモノヲ合一シタ  
ル稱ヲ「ベフェル」ケルングト云フ其中ニハ死セサルモ  
ノアリ出生スルモノアリ他ヨリ来ルモノアリ

警見徳





又他ニ轉スルモノモアルベシ「ベフエルケルング」トハ  
是等ノ「バウエーグング」變動ヲ問ハザル總稱ナリ  
上陳死生ノ變更ニハ自ラ一定ノ規則アルモノ  
ニシテ之ヲ稱シテ「ゲゼッツテール」ベフエルケルングト云フ  
此法ニ由ルキ人ノ死七ト出生ノ平均數ヲ  
取リ以テ其差違ヲ見ルモノナリ今多年ノ經驗  
ニヨレハ一年千人ニ付三十人乃至三十五人ノ  
死七者ト三十人乃至三十六人ノ出生スル者ヲ  
見ルベキナリ其出生ノ死七ニ超過シタルモノ  
ヲ稱シテ人民ノ増加ト云フ

「ベフエルケルング」ニ一ツノ學問アリ予モ嘗テ「ベフエル  
ケルングスレー」ナルモノヲ著シタリ然ルニ此ノ「ベ  
フエルケルングスレー」ニ付テハ英人「ワルトス」ナルモノ  
有名ナル著述ヲナセリ其說見ルヘキモノアル  
ヲ以テ今茲ニ其要略ヲ述フルモ無用ニアラサ  
ルベシ  
「ワルトス」ノ說ニ曰ク若シ人間充分ナル食物ヲ得  
テ生活スルキハ二十五年毎ニ其數ニ倍スルモ  
ノナリ是則二十五年ヲ一期トシテ每期ニ二倍  
スルノ割合ナルヲ以テ所謂「ケオフトリツ」ニス



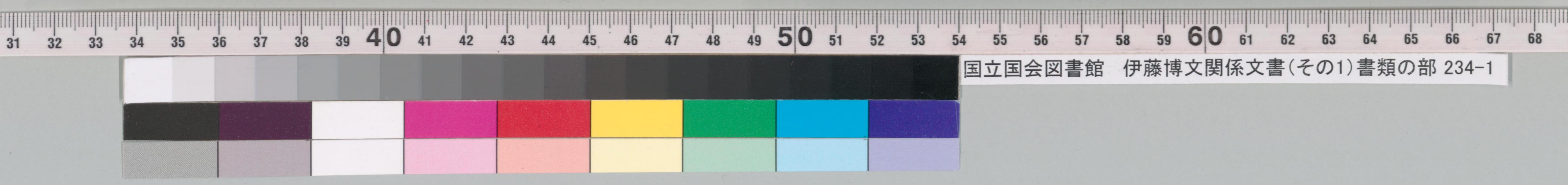
一、幾何法ノ計算ニ由ルモノトス蓋シ人間ノ  
數増加セハ隨テ之ニ應スルノ食物ヲ要セザル  
ハカラス故ニ又食物ヲ増加スルノ方法ナカル  
ヘカラス然ルニ如何セシ食物ノ増殖今人間ノ  
増加スルカ如ク二十五年毎ニ二倍スルノ割合  
ヲ以テスルヲ得スシテ「フリトメチツシエスシステーム」  
即數學法ニヨルモノトス故ニ二十五年毎ニ唯  
一、二、三、四ト其數ヲ増加スルモノナリ是ヲ以テ  
食物ト人間トカ増加ノ推衡ヲ失シ遂ニ人間ハ  
其身体ヲ養フヘキ食物ニ不足ヲ生シ為メニ餓

警社

死スルノ外ナキニ至ラン於是カ外国歸化若ク  
ハ流行病又ハ戦争ナルモノアリテ其當ヤニ失  
ヒ若クハ失ハントスルノ推衡ヲ保ツモノナリ  
ト云ヘリ右ノ所説ハ少シク見ルヘキアルカ如  
シトイヘル亦夕未夕當ヲ得タリト云フヲ得  
ヤルナリ如何トナレハ人間ニシテ若シ食物ニ  
不充ナルルハ上陳ノ割合ニ増加セスシテ常  
ニ同數ニ止リ又ハ其數ヲ減少スルヲアルヲ以  
テナリ

第二其主治者ニ服従シタルモノナル有様ヲウ

女言見憲



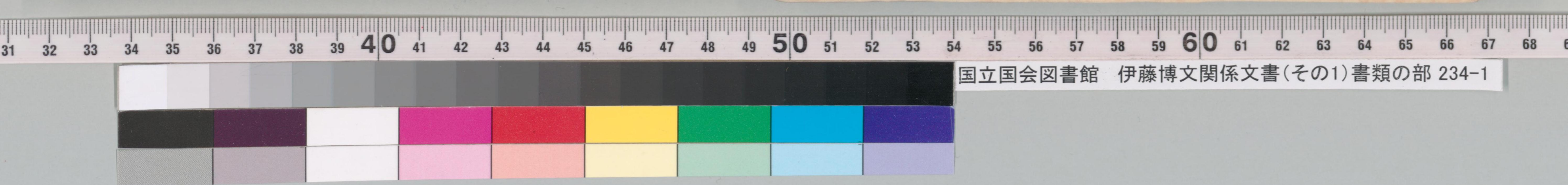


モテ「スターン」ト云フ「スターツビルゲルト」トハ「スタート」ノ政  
治ニ與ルノ權利ヲ有スル人民タルヲ示シタル  
モノナリ「スターツアングエーリゲ」トハ他ノ「スタート」ニ  
對シ一ツノ「スタート」ニ屬スル人民タルヲ示ス意  
義ナリ其他「アインウオー子ル」ト云フ「アリ」之レ其  
場所ニ定居ヲ有スル人民ト云フ意義ニシテ以  
上皆混合スヘカラサル字義ナリ  
第三「ナチオナリテ」ナルモノアリ之レ人民ノ集  
合シタルモノヲ一「体」ト見做シ以テ其「インデビツア  
リテ」ト各自ノ性質ヲ備ヘタル一ツノ集合体ヲ

警  
示  
廳

稱スルモノナリ此「インデビツアリテ」トノ由来ハ之  
ヲ明カニスル「ト」ヲ得スト虽此所謂「エタ」ノ人種  
ニヨルヲ以テ其初メトス盖人種トハ面兒血色  
ヨリ知覚性質ニ至ルマテ天然相同スル処ノ合  
体ナリ故ニ「ナチオナリテ」トナルモノハ各自合一  
ノ生活ヲナスベキ感情ヲ備ヘタル人民ノ集合  
体ニシテ其「ナチオン」ニ屬スルモノハ何人トイハ  
レ禍福ヲ同スルノ思想ヲ具ヘ而シテ他ニ對シ  
テハ各一人以テ其已レヲ屬スル処ノ全「ナチオン」  
ヲ代表スルカ如キ感情ヲ有スルモノナリ故ニ

警  
見  
廳





其思考スル処ノモノ其吐露スル処ノ言其作為  
スル所ノ業一ツトシテ自ラ其「ナチオナリ」ノ性  
質ヲ著ハサシルハナレ是レ決シテ他ノ模擬シ  
能ハサル処ノモノナリ  
故ニ一ツノ「ナチオナリ」トモノ他ノ「ナチオナリ」  
テトノモノニ接スルハ之ヲ敵視スルノ形象  
ナキヲ免カレサルナリ否嘗ニ之ヲ敵視スルノ  
モノヲラス實ニ内心之ヲ退クルノ情ハ多少之レ  
アラサルハナレ他ナレ「ナチオナリ」トシテ然ラレ  
ムル所ナリ故ニ「スタート」ニ於テ他ノ「スタート」ニ對

スル片差クハ一ツノ人民他ノ人民ニ接スル片  
ハ各其固有ノ性質即「ナチオナリ」トシテ失ハサル  
トシテ努メサルハカラサルナリ  
現今地球上重要ナル問題ハ他ノ「ナチオナリ」ヨリ其  
長スル処ノモノハ之ヲ學ハサルハカラス然レ  
凡レ「ナチオナリ」トシテ失ハサルトシテ努  
メサルハカラスト云フニアリ何トナレハ人民  
ハ其「ナチオナリ」トシテ維持保存スヘキハ實ニ緊  
要ノ事ニシテ其「ナチオナリ」トシテ初メテ人  
民ノ聲價ヲ輝シ他ニ對シテ獨立スルトシテ得レ





ハナリ  
今夫レ各「ナチオナリテイト」ヲ以テ「ユマニテイト」トナシ  
皆同一ノモノトセンカ人各異リタル処ノ自然  
ノ性質ヲシテ一ニ帰セシメントスルト何ソ異  
ナルコアラシ是レ為シ得ヘカラサルコナリ  
夫レ人民ナルモノアル以上ハ其「エキジステンツ」即  
其成立ノ方法ヲ計画スル必要因テ生スルハ自  
然ノ道理ナリ此一般人民ニ於テ「レーベル」生活ス  
ルノ方法ヲ論スル學問ヲ「フオルクスイルトシマフツレ  
」即社會經濟學ト云フ經濟學ハ富ヲ増殖スル

ヲ以テ目的トスルモノナリ現今社會ノ形勢貧  
富ノ等差甚シキヨリ此有様ヲシテ之ヲ宜シキ  
ニ処スルハ亦タ必要ノ事ナルカ故ニ其等差ノ  
原因ト結果ヲ探究シ之レニ應スルノ措置ヲ規  
則立サルヘカラス此學問ヲ稱シテ「ゲゼルシマフツ  
」即社會學ト云フ  
以上述ハタル処ハ土地ト人民ノ關係ヲ説キタ  
ルモノナリ若シ夫レ土地ト人民トヲシテ各別  
ニ見ルハ亦タ未ダ「スタート」ヲ成サ、ルナリ  
夫レ「スタート」ハ土地ノ上ニ人民ノ結合シタルモ



ノアツテ一ツノ「ヤルヅンリヒカイト」即恰モ人タル  
ノ性質ヲ為スニ及ンデ始メテ「スタート」ナルモノ  
成立モノナリ故ニ「スタート」ハ人間ノ天性ニ存シ  
ヅル「ゲルズトバブストガイシ」即人間自然ノ感覺ヨリ起ル  
モノニシテ人タルノ性質ヲ備ヘ到ル処其働キ  
ヲナスベキノ機關ヲ備ヘザルヘカテサルモノ  
ナリ而シテ「ガイスト」即精神ナルモノハ人民ニシ  
テ「ゲルバル」即身体ナルモノハ「レド」土地ナリ然ル  
ニ其人民ト土地ノニシテハ恰モ精神ト身体ヲ  
各別ニシタルカ如ク未ク以テ人ト見做スベキ

完全ナル「スタート」ヲナサバ「ル」ナリ是其「イヒ」即我ナ  
ルモノアツテ之ヲ一致統轄スルニ及ンテ始メ  
テ「スタート」ヲナスモノニシテ国主ナルモノハ実  
ニ此「イヒ」我ナリトス  
右ノ如ク「スタート」ハ土地人民ノ「アインハイト」即合一  
ヨリ成立タル処ノ機關ナルヲ以テ人民ノ生活  
上ニ関スル一切ノ事ヲ含有セザルヘカラザル  
モノナリ故ニ「スタート」ハ「ヒュマニテート」即地球上一般  
人間ノ性質ヲ目下ニ実行シタルモノナリ是ヨ  
リシテ又左ノ精神ヲ生ス



「スタート」ノ「エントウイックルング」國ノ發達ナルモノハ  
「インデビヅウム」即各個人ノ身体上及精神上ノ發達  
ト共ニスルモノニシテ現在各國ノ有様ニ徴ス  
ルモ之ヲ証スルニ足ルヘシ而シテ各「スタート」ノ  
「オルガニスム」機關ナルモノハ何レノ「スタート」トイ  
ハ凡大凡缺欠ナキモノニシテ唯其間ニ差違ヲ  
生スルモノハ職トシテ人民ノ進歩如何ニアル  
ノミ例ハ人民富貴饒裕ナレハ「スタート」モ富貴  
饒裕ニシテ人民明智博識ナレハ「スタート」モ亦タ  
明智博識ナルカ如キ是レナリ故ニ「スタート」ノ業

務ハ其「インデビヅウム」即各個人ノ身体上精神上ノ  
進歩ヲ目的トスルモノナリ如何ントナレハ「イ  
ンデビヅウム」ノ進歩ハ則チ「スタート」ノ進歩ナルヲ以  
テナリ然リ而シテ「スタート」ノ一致ノカヲ以テ各  
個人ノ進歩スルヲ主ルモノハ「フエルワルツング」  
即行政ナリ此行政ナルモノハ「スタート」ニ於テ天  
然ノ性質ヲ熟考シテ之ヲ實際ニ執行スルモノ  
トス故ニ尤ノ三ツノモノヲ備ヘザレバ必シモ  
「スタート」ト称スヘカテサルナリ其一「オルガニスム」所  
謂廣キ意味ヲ以テスル処ノ「フエルツアツスング」憲法

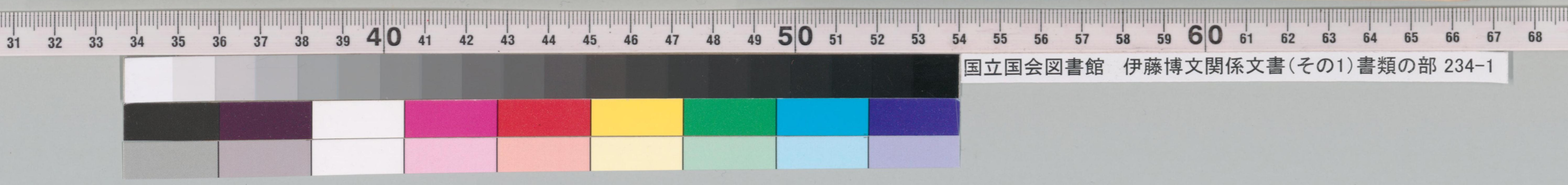


其二「テイチヒコイト」即勸キヲサス処ノ「フエルワルツング」  
行政第三「ゲシヒテ」歴史是ナリ而シテ又其部門ノ  
學問アリ一ニ曰ク「フエルファウツングスレーレ」憲法学ニ  
ニ曰ク「フエルワルツングスレーレ」行政学三ニ曰ク「ゲシ  
ヒテ」歴史是ナリ  
蓋憲法ナルモノハ必ス左ノ三ツノ者ヲ含有セ  
サルヘカラサルモノトス第一「スターツオーベルハウ  
プト」即「カイゼル」皇帝「キューニヒ」王「ブレジデント」大統領第  
ニ「スターツウイト」國ノ企望即立法権第三「クラフト」  
行政権是レナリ

警  
社  
庫

然ルニ各「スタート」ニ於テ其「フォルム」即政体ヲ異ニ  
スル所以ノモノハ他ナシ上陳三者ノ意義ヲ能  
ク了解セスシテ其一ヲ偏重若クハ偏輕シタル  
ニヨルヲ外形上ノ異ナル原因ナリトス然リ而  
シテ尚其他ニ必要ナル原因アリ即自由ノ等差  
是レナリ  
夫レ「フライハイト」自由ノ意義ヲ通常一般ニ解釈ス  
ルキハ各人其欲スル処ヲ自由ニ行フト云フニ  
在リ然ルニ之ヲ政治上ヨリ云フキハ所謂「ポリ  
テツセフライハイト」政治上ノ自由若クハ「スターツビユゲル

政  
見  
憲





リツシユフライハイト」參政權ヲ有スル人民タルノ自由ト稱シテ人民國政ニ典リ所謂「スタートツレーベン」即國ノ生活上ノ「」ニ參與スルノ自由權ヲ云フナリ各國政体ヲ異ニスルハ此自由ノ等差ニヨルニアリ

「スタート」ハ「アインハイト」即一致ノカヲ得テ一切ノ「インジビデエ」ノ上ニ最上權ヲ有スルモノナリ此最上權ヲ稱シテ「スーブレニテート」ト云フ如何ナル憲法アル國トイヘ凡其國主ハ必ス此「スーブレニテート」ヲ有スルモノトス

然ルニ此權ヲ行フ上ヨリ人民ヲシテ更ニ「スタート」ノ企望即立法トカ即行法トニ與ラシメサル之ヲ稱シテ「アプソルチスム」專制ト云ヒ而シテ人民國政ニ參與スルニ及ンテ始メテ「フライエルス」ト即自由國ト云フ蓋シ各個人民ハ自由ヲ備ヘタルモノナルカ故ニ「スタート」ハ其政事上ノ自由ヲ保護セサルヘカラサルモノニシテ其自由ヲ保護スルノ輕重ヨリ「スタート」ニ等差ヲ生スルモノナリ

以上述ヘタル二個ノ主義即「スタート」ノ「オルガニ



国主権、立法権、行法権ハ之ヲ偏重偏輕ナラシム  
ヘカラス且ツ政事上ノ自由ヲ保護スルノ目的  
ハ「スタート」ノ各「オルガ子」機関ニ普ク涉ラシメ以  
テ政事上ノ主義トセサルヘカラサルナリ故ニ  
「スタート」ノ機関ノ第一タル国主ノ事ヨリ説述ス  
ベシ蓋シ之ヲ説クニ先ツ「キユーニヒ」国王ノ事ヨリ  
始メントス  
抑モ国王ノ歴史ハ猶「スタート」ノ歴史ト云フカ如  
シ故ニ国王ノ歴史ヲ知レハ則チ王国ノ歴史ヲ知  
ルニ足ルモノナリ其歴史ニ三期アリ何レノ君

主国トイヘ其捨ヲ一ニシタルモノト知ルヘ  
シ  
第一期ニ於テハ國王タルモノハ唯「スタート」ノ「ア  
インハイ」ト即合一ノ代理者ナリト云フニ過キスシ  
テ他ニ権利ナキモノ、如クニ思惟シ未タ国王  
ノ何物タルヲ明カニセサルナリ故ニ人民一般  
國王ニ對スルノ感情ハ國王タルモノハ神ノ子  
孫ニシテ人民ノ上ニ位スルモノナリト思惟ス  
ルニ過キサリシカ如シ  
蓋シ當時其實權利ナキニアラス何ヲカ權利ト



云フ曰ク廣大ナル土地ヲ有スルノ權位ヲ附  
與スルノ權是ナリ然ルニ國王タルモノ威嚴ヲ  
維持シ地位ヲ堅固ニセント欲セシヨリ其土地  
ヲ重臣ニ介チ以テ藩屏ヲ築クニ如カスト思惟  
シ封建ノ制ヲ立テリ既ニ重臣ノ其土ニ封セラ  
レタルモノ始メハ國王ニ忠ニシテ君臣ノ誼ヲ  
厚シ恰モ國王ノ代人トナツテ政ヲナシタルカ  
如シト虽モ歲月ノ推移スルニ隨ヒ純然タル土  
地ノ所有者即「グレンドヘール」領主トナリ遂ニ國王  
ニ對シテ獨立シタルカ如キ有様ニ變更セリ國

王ハ其威嚴ヲ維持シ其地位ヲ堅固ニセント欲  
シテ却テ其地位ヲ危ウシ亦タ臣下ノ手中ニ歸  
シタル土地ノ權利ハ之ヲ恢復スヘキナク唯名  
ヲツテ實ナキ位号ヲ附與スルノ權利ノミヲ有  
スルニ至レリ故ニ「スタート」ハ其「ファインハイト」合  
其精神ヲ失ヒ而シテ百般ノ國事ハ各領主ノ會  
合決議ヲ以テ之ヲ左右シ又國王ハ殆ント其「ス  
」ブレニテ「ト」最上權ヲ失ヒ而シテ各領主ハ其最上  
權ヲ得亦爭フテ之ヲ得ン「ト」勉メタルナリ  
其二期ニ於テハ國王タルモノ殆ント權利ヲ失



ヒタリトイヘル「スタート」ノ必要ハ欠クヘカラヤ  
ルモノナルカ故ニ君主ハ「スタート」ノ権カヲ振起  
シ其「スープレニテート」ヲ恢復シ以テ君主権ヲ強盛ナ  
ラシメン「ア」ヲ努メ威カヲ藉リテ衆人ヲ旗下ニ  
服従セシムルニ至レリ於是ヤ始メテ「アプ」ル  
ス「ス」專制政治ナルモノ起ルニ至リシナリ  
既ニ君主ハ「スタート」ヲ恢復シタルヲ以テ再ヒ其  
権利ヲ失フヘカラサルヲ努メタリ今其手段ノ  
如何ナル方法ニ出テタルカヲ案スルニ君主ハ  
親ラ進退黜陟スル処ノ「バ」ム「テ」ン「ツ」ム「官」吏ト親ラ

指揮命令スル處ノ軍隊ニヨツテ其地位ヲ固ウ  
シ而シテ君主一個ノ企望ヲ以テ租税徴収ノ法  
ヲ定メタリ是レ則チ君主專制ニシテ一國ノ政  
事ハ毫モ人民ノ企望ヲ顧ミルコトナク唯君主一  
人ノ企望ヲ行ヘリ故ニ其企望ハ見レテ「ゲ」ゼ「ツ」  
法律トナリ出テ「フェ」ル「オ」ル「ド」ヌ「グ」布達トナリタ  
ルモノトス然ルニ如何ナル專制國ト虽モ君主  
一人以テ万機ヲ決裁スル能ハサルモノナルヲ  
以テ其最モ信用スル処ノ人員ヲ召集シ以テ會議  
ヲ開キ其意見ヲ問フ「ア」リシナリ此會議ニ與



警  
秘  
庫

ルモノヲ後世ニ至テ「<sup>ラート</sup>」議官ト云フ則チ現今  
ノ「<sup>スターウラート</sup>」<sup>ゲハイムラート</sup>ノ如キハ之レニ原因  
スルモノナリ  
勿論亦會議員ハ国王ノ下附スヘキ議案ニ付意  
見ヲ述ルノ外毫モ他ニ干渉スルコトヲ得ヤリシ  
ナリ其「<sup>レ</sup>」即議員カ會同シテ討議スル処ヲ「<sup>ス</sup>  
ターウラート」或ハ「<sup>ゲハイムラート</sup>」ト云ヘリ而シテ此  
會議ニ「<sup>ブレシデント</sup>」長アリ後世之ヲ称シテ「<sup>アル</sup>」  
「<sup>ミニストル</sup>」宰相ト呼ヘリ之ヲ解釈スルキハ国王ノ  
第一臣僕ト云フ意義ナリ

君主專制ノ国ハ上陳ノ有様ナルカ故ニ君主賢  
明ニシテ政府ノ組織ヲ完全ニシ人民ノ進歩ヲ  
企圖スルコトヲ努ムルキハ「<sup>スタート</sup>」ノ發達ニ妨害  
ヲナサハルナリ君主專制ノ善良ナル政治ヲ称  
シテ「<sup>アウフゲクレール</sup>」<sup>テル</sup>「<sup>アフリネスム</sup>」<sup>ス</sup>即道理ヲ得タル  
專制政治ト云フ日本ノ如キ蓋シ此中ニ在ラン  
以上ノ第二期ハ各国皆其揆ヲ同フスルモノニ  
シテ唯其進歩ニ緩急遲速ノ差アル而已支那及  
土留古ノ如キハ第二期中ニ在リテ常ニ其度ニ  
止リ未タ一步ヲ進メテ第三期ニ達スルノ運ニ

文  
見  
惠





至ラサルモノナリ

第三期ハ「コンスチテュション」モナルヒト即君主主義ノ立憲政体ナリ蓋其精神トスル処ハ君主タルモノハ「スタート」邦国ノ總代者若クハ一般ノ企望即立法及行政上ノ總代者タリト云フニ在リ故ニ立法及行政上ノ「オルガニザチオン」即憲法モ亦ク一種特別ノモノニシテ必ス「キユーニヒット」即君主政治ノ性質ヲ具有レタルモノナラサルヘカラサルナリ然ルニ君主ノ企望及カナルモノハ其結局ノ確

定ノ権力ニシテ其全体ニ涉ルベキモノニアラス例ハ茲ニ法律ヲ創定セシカ其當否ヲ討議スルハ議院ノ職務ニシテ君主ハ之ヲ承認スルノ権ヲ有スルニ過キサレカ如キ是ナリ然ラハ則其結局確定ノ権力ニ制限ナカルヘカラス之ヲ制限スルモノハ則チ憲法ニシテ君主権立法權、行政權ノ關係ヲ定メタルモノナリ故ニ之ヲ稱シテ「スタート」国ノ基礎法ト云フ故ニ立憲国ノ君主ハ旧時君主專制ノ時ト異リ已レ一個ノ「ウイール」企望而已ヲ以テ国政ヲ行フ





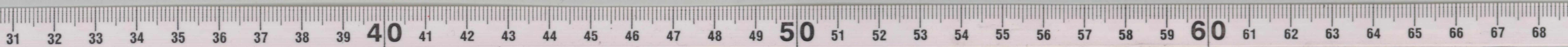
「ヲ得スシテ」レヒト即君主權、立法權、行政權ノ関  
係ヲ定メタル所謂憲法ヲ以テ制限セラレタル  
モノナリ此君主国ヲ稱シテ「コンスタンチヌン子ールモ  
ナルヒー」即立憲君主国ト云フ故ニ「キユニヒツム」王  
權ハ恰モ憲法ノ一部ヲナシタルモノナリ  
此ニ於テ「モナルヒー」即君主政治ト「レプブリック」即共  
和政治トノ區別ヲ述べサルヘカラサルナリ  
抑モ「レプブリック」即共和政治ナル語ハ羅典語ノ  
「レス、プブリカ」ナル字ヨリ来リタル語ニシテ共和  
政治ノ意義ニアラス唯公ケノ事即「スタート」國ノ

公事ヲ稱シタル語ト知ルベシ又タ「デモクラチ」ナ  
ル字アリ這ハ希臘ノ「デモス」即人民ト云フ字ヨ  
リ来リタル語ニシテ人民政治ト云フ意義ナリ  
中古「ゲルマン」ノ世ニ於テハ君主国ニ對スルニ「レ  
プブリック」即共和国ノ稱ヲ以テセリ「レプブリック」  
トハ人民ノ撰擧ヲ以テ其君主ヲ定メタル国ヲ  
云ヒ而シテ血統ヲ以テスル君主国ヲ「モナルヒー」  
ト稱ス  
然ルニ自由ノ説天下ニ盛ナルニ及ンテ君主ト  
大統領トノ區別ヲ明カニセントシ又何レヲ以



テ適當トスルヤノ問題ヲ生スルニ至レリ予ヲ  
以テ見レハ此問題ニ對スル答弁ハ甚タ容易ナ  
リトス蓋專制国ヲ以テ共和國ニ對シ其得失ヲ  
比較スルキハ其間ニ議論アルヘシトイヘ共  
和国ヲ以テ立憲君主国ニ比較スルキハ「スターツ  
オーベルハウプト」国主ナルモノアル点ニ於テハ異ナ  
ル処ナシ然レモ人民ノ撰擧ヲ以テスル大統領  
ハ甚タ危嶮ナリト云ハサルヘカラサルナリ如  
何ニトナレハ大統領ナルモノハ其実国長ニア  
ラスレテ党派ノ主領タル弊害ナキヲ免カレサ

レバナリ故ニ君主政体ト共和政体ノ得失ハ此  
簡短ナル一言ヲ以テ他ニ辨ヲ要セサルベシ  
是ヨリ君主ノ「シユテルング」即地位ニ関スルヲ説  
カレトス説者曰ク君主ハ憲法上立法行政ノ一  
部ヲ保ツモノナリト是レ大ナル謬リナリ如何  
トナレバ君主ハ二ノ地位ヲ有スルモノナルヲ  
以テナリ何ヲカニツノ地位トナス曰ク国王ト  
シテ獨立シタル一種特別ノ地位其一ツハ憲法  
上ノ一部ノ地位是ナリ此ニツノ地位ヲ有スル  
權利ヲ分割スルキハ三ノ性質ヲ備フルモノト





ス第一国王ノ「レギチミテート」即国王タル正シキ血  
紆タル「第二」ス「ブレニテート」即最上推第三憲法ノ  
一ツノ機関タル「是ナリ然リ而シテ此三種ノ  
権カヲ能ク區別スルニアラサレハ国王ノ何物  
タルヲ明カニスル能ハサルナリ  
第一「レギチミテート」正シキ血紆ヨリ出ツルヲ以テ  
正當ノ国王ト云フ故ニ其血紆ノ正當ナルモノ  
ニアラサレハ国王タルヲ得サルモノナリ正  
當トハ何ソヤ即正當ナル婚姻ヲナシ其間ニ生  
シタル嗣子カ正當ノ相續法ニ由テ即位シタル

国王ナラサルヘカラサル是ナリ歐洲君主国ニ  
於テハ他ノ国主ノ正子若クハ其王族ニ限リ婚  
姻ヲ為スニマリ故ニ君主ノ地位ヲシテ安泰鞏  
固ナラシメ而シテ君主政体ヲシテ万世不朽ニ  
維持セント欲セハ必ス国王ノ婚姻法及相續法  
ヲ定メサルヘカラサルナリ盖此等ノ法ハ君主  
自ラ之ヲ定メサルヘカラサルモノナルヲ以テ  
日本ニ於テモ国会ヲ設ルノ前ニ於テ是等ノ法  
律ヲ制定スルヲ緊要ナリトス如何トナレハ国  
會ヲ開設シタル後之ヲ定メントスルハ議員



ノ識見至ラサル所アルノミナラス其法律ノ制  
定上權利ヲ争ヒ王家ノ不利ヲ来スハ火ヲ觀ル  
ヨリモ明カナルモノアルカ故ナリ然リ而シテ  
此ニ又タ国王ノ缺クヘカラサル「ドメー子」即  
国王ノ財産ニ屬スル土地ナカルヘカラス苟ク  
モ国王ニシテ充ルニ其土地ヲ有セサルトキハ  
國會ハ王權ヲ左右シ得易カラレ何トナレハ王  
家ノ所有ニ屬スル土地ハ国王ノ地位ヲシテ安  
泰鞏固ナラシムルニ典テカアルモノナルヲ以  
テナリ於是カ前ニ述ベタル婚姻法相續法及

警  
福  
廳

土地ノ事ニ関シ国王ヲ補佐シテ以テ其行政  
ヲ司ルモノナカルヘカラス之ヲ稱シテ「ハウス  
ミニステリウム」即宮内省ト云フ是レ「スター」即国  
ノ憲法外ニ在ルモノニシテ單ニ国王ニ屬スル  
モノナリ  
第二「スーブレニテート」即国王ノ最上權ナルモノ  
ハ「スター」トレ国ノ代理者タルノ權利トナルモノ  
ニシテ行政權及立法權トイヘトモ此權利ニ  
干渉スルヲ得サルモノトス今其權利ヲ行フ  
ノ場合ヲ述フレハ第一国王ハ他ノ「スター」トレ国

政  
見  
憲



ニ對シ一人以テ我カ「スタート」ヲ代表スルモノ  
ナリ故ニ其結果トシテ開戦ヲ布告シ及條約ヲ  
締結スルノ權アルナリ第二犯罪人ニ特赦ヲ行  
フノ權第三公ケノ位号及ヒ勲章ヲ與フルノ  
權是ナリ而シテ此位階勲章ニ関スル事務ヲ  
掌ルモノハ君主ノ左右即帝室ニ在ルベキモノ  
ニシテ之ヲ稱シテ「ホーフ」即朝廷ト云フ故ニ此  
官吏ハ君主親ラ進退スルモノナルヲ以テ自ラ  
「ホーフ」朝廷ハ一種ノ生活ヲ為スモノニシテ官  
吏ノ俸給ノ如キモ皆帝室ノ費用ヲ以テ支辨ス

ルモノナリ  
第三國王ハ一般ノ「ウイール」企望即立法權一般ノ  
力即行法權ノ上ニ在ルモノナリ故ニ法律ヲ認  
可シ及ヒ之ヲ執行スルニ當テヤ皆已レノ名ヲ  
以テスルモノトス然リ而シテ其王權ヲシテ憲  
法上之ヲ制限スル処ノモノアリトス  
君主ノ職務如此「スタート」國ノ職務中最上位ニア  
ツテ且ツ重大ナルモノアリ然ラハ則其職務ヲ  
充スニ於テハ自ラ道德上ノ責任ヲ有スルハ論  
ヲ俟タサルナリ然ルニ君主ハ其重大ナル職務

警  
初  
廳



ヲ充タスニ於テ一人以テ之ヲ尽ス<sup>1</sup>ヲ得サル  
カ故ニ必ス其務ヲ翼クルモノナカルヘカラス  
カビ子ツト<sup>レ</sup>ナルモノ、設ケアツテ専ラ國王ニ屬  
スル所以ナリ此<sup>カ</sup>カビ子ツト<sup>レ</sup>ノ長タル者ハ最モ秀  
逸ノ人物ヲ以テ之レニ任セサルヘカラス何ト  
ナレハ各大臣ヨリ國王ニ奏上スルモノヲ執達  
スルハ此長ニシテ而シテ國王カ特別ニ之レニ  
下問スル<sup>1</sup>アルヲ以テナリ  
旧時君主專制ノ時代ニ於テ君主ノ権力盛シナ  
リシ<sup>レ</sup>ハ君主ハ<sup>カ</sup>カビ子ツト<sup>レ</sup>ト<sup>カ</sup>スターツラ<sup>レ</sup>ト<sup>レ</sup>ナルモ

ノヲ有シ之ヲシテ恰モ已レノ味方トナシタル  
カ如キ有様ナルヲ以テ自ラ<sup>カ</sup>モニスト<sup>レ</sup>ル大臣ト<sup>カ</sup>ス  
ターツラ<sup>レ</sup>ト<sup>レ</sup>ノ間ニ屢々意見ヲ異ニスル<sup>1</sup>ナキヲ  
保タサリシナリ故ニ現今ニ於テハ重要ナル事  
件例ハ法律ノ承認及<sup>カ</sup>フエルオ<sup>レ</sup>ドス<sup>レ</sup>グ<sup>レ</sup>即チ布令  
ヲ出スカ如キハ國王独リ之ヲ決行セズシテ<sup>カ</sup>モ  
ニスト<sup>レ</sup>ル<sup>レ</sup>ノ會議ヲ開キ親ラ之レカ長トナツテ各  
大臣ノ意見ヲ聞キ又各高等官各大臣會計検査  
院長高等警察官等ヨリ直ニ報告ヲ受ケ因テ以  
テ万機ヲ決裁スルモノトス是レ則チ君主ノ務



ノナリ

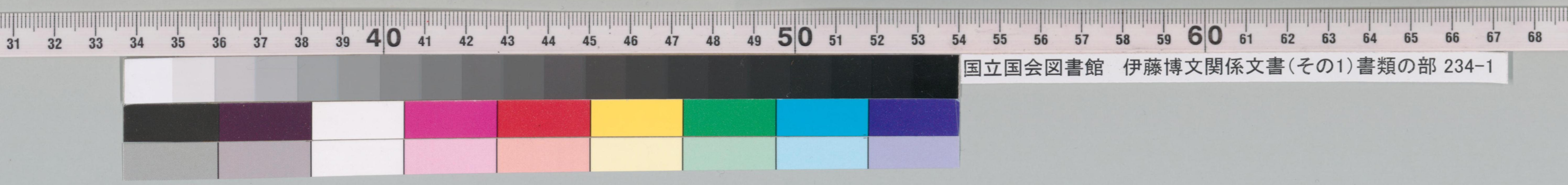
君主ノ務如此故ニ各大臣其他ノ官吏ヨリ内閣  
會議ニ付スハキ事件ハ必ス君主ニ出シ其認可  
ヲ得テ以テ之ヲ會議ニ付スルモノトス然リ而  
レテ各大臣ノ「イニチアチーウエ」發意ニ成立タル国  
會ニ付スハキ法案モ亦タ必ス国王ノ承諾若ク  
ハ奏問ニ達シタル後會議ニ付スルヲ例トス故  
ニ其法案ハ間接ニ國王ノ發意タルカ如キモノ  
ナリ是ニ由テ之レヲ觀レハ君主ハ「ホルム」形ナ上  
ノ上ニ在ルモノニアラスシテ「スタート」ノ中心ニ

警  
社  
庫

位ニ親ラ国ノ大事ヲ負フモノト云フヘシ然レ  
氏亦タ一方ヨリ論スルハ國王ハ「ツェントルム」即  
「スタート」ノ中央ニ位スルモノニシテ「ベリフエリ」即  
周圍ニアルモノニアラス故ニ大臣ノ承諾ナク  
レテ法律布令ヲ出スヲ能ハサルモノナリ以上  
述ヘタル所ハ國王ノ何物タルヲ説キタルモノ  
ナリ

尚之ヲ約言スレハ國王ハ「スタート」国ノ「アインハイト」  
合一ヲ一身ニ集メテ以テ「スタート」國ヲ代表スル  
モノニシテ「スタート」ノ企望トカノ代理者ナリト

文  
見  
意





云フベキナリ現今各立憲君主国ノ「ホルム」形体上  
ニ於テハ種々ニ異同アルベシトイヘ其精神  
ニ至ウテハ以上述フル処ニ異ナルナシト知ル  
ベシ

是ヨリ立法権ニ関スルコトヲ述ヘン抑々立法院  
ナルモノハ人民ノ企望ヲ公ケニスル処ノ機関  
ナリ其組織タルヤ古来一定ナラサリシカ大凡  
八十年来旧時ノ有様ヲ一変スルニ至レリ亞細  
亞及亞非利加等ノ諸國ニ於テハ政事上人民ノ  
企望ヲ顧ミサルカ故ニ立法上ノ機関ナク法律

ヲ制定スルモ行政ヲ行フモ獨リ君主ノ企望ノ  
ミヲ以テセリ歐洲各國ニ於テハ然ラス旧時ヨ  
リ人民ノ企望ヲ表スル処ノ機関ヲ定シ人民ヲ  
シテ直接間接ニ政事ニ參與セシメタルモノナ  
リ今其組織ノ區別ヲナシテ三期トス  
第一期ニ於テハ人民タルモノ各自投票権ヲ有  
シ法律ヲ制定スルキハ其人民同一ニ集會ヲナ  
シ而シテ其投票ヲ以テ決定シタルモノナリ旧  
時希臘、羅馬及「ゲルマン」ノ如キ是ナリ勿論其傍ニ  
国王ナルモノアルモ人民トハ毫モ區別ナク何

警  
初  
庫



人トイヘ臣政事ニ參與シタルモノナリ  
然ルニ「ゲルマン」ニ於テハ現今ニ至ル迄國王ヲ廢  
シタルコトアラサルモ希臘羅馬ニ於テハ或ル時  
代ニ至テ國王ヲ廢セリ而シテ希臘ノ如キハ人  
民中毫モ等差ナク總テ同等ノ權利ヲ有シ国政  
ハ皆同一ニ會合議決シテ以テ執行シタルモノ  
ナリ之ヲ稱シテ「デモクラチー」庶民政治ト云フ「ア  
レキヤンド」大王出ツルニ及ンテ此政治ヲ全廢ス  
トイヘ臣「デモクラチー」庶民政治ハ「ロカール」ノ事ト  
ナリ「ゼルグスト」フエルツング」即自治行政ノ事ヲ掌ラ

シノ國王ニ於テ其上監督ヲ為シテ之ヲ支配ス  
ルコトナリタルナリ羅馬國ハ之ニ異リ國王ヲ  
廢シタル後人民中ニノ等級ニ別レタリ其第一  
ノ等級ヲ「パトリチエ」ト云ヒ大ナル土地財産ヲ有  
シタルモノナリ而シテ第二ノ等級ヲ「プレバイエ」  
ト云ヒ中等以下ノ財産家ハ皆此等級ニ入りタ  
ルモノトス此ニ等級ノ區別ニヨリ二個ノ議院  
ヲ設ク即第一ノ議院ヲ稱シテ「セナート」ト云ヒ其  
議員タルモノハ撰擧ヲ以テ之ヲ定ムルニアラ  
スシテ上陳第一等級ナル財産家ノ集會シタルモ



ノナリ而シテ第二ノ議院ヲ「コミチエ」ト稱シ人  
民一般ノ總會ニシテ羅馬人民ハ何人ト虽ドモ  
此會議ニ出席シ議事ニ與ルノ權利ヲ有シタル  
モノナリ然ルニ此會議ハ立法上ノ目的ヲ以テ  
シタルモノニアラスシテ「マギストラート」自治官署  
ノ役員ヲ撰擧セルカ為メニ集會シタルモノナ  
リ然リ而シテ上陳ノ「セナート」若クハ人民ヨリ法  
案ヲ呈出シタルルキモ亦タ此集會ノ決議ニヨツ  
テ「レツクス」法律トナリタルモノナリ但「レツクス」ト  
ハ讀ムト云フ意義ヨリ来リタル文字ニシテ其

敬  
禮  
庫

法案ヲ議會ニ於テ朗讀スルカ故ニ斯ク稱シタ  
ルナリ  
如右立法權ハ独リ「コミチエ」即一般人民ノ總會ニ  
シテ「セナート」ハ唯法律ノ「イニチマチーウエ」發意ノ權  
ヲ有スルモノナリシ蓋當時國王ナク人民ノ總  
會ニ於テ決議シタルモノヲ法律トナレシ以テ天  
下ニ行フタルモノナリ  
其第二期ハ「ゲルマン」ノ世ニシテ今ヲ去ル「大凡  
千五百年前」ト知ルヘシ今之ヲ細別シテ三期ト  
ス

敬  
見  
德



第一期ハ大凡千年比迄ノ時代ナリ此時代ニ  
於テハ人民各々國政ニ參與シ而シテ國主之ヲ  
統綜シタルモノナリ著名ナル「カル」大王ノ時  
代ニ在テハ毎年會議ノ期ニ定マリアリテ全  
國人民ヲ召集シ以テ開會セリ  
第二期ハ「カルウインギツシエーモナルヒ」即「カル」大王  
血紓ノ國主衰廢シタルキヨリ封建ノ時代ニ  
入ルモノニシテ即「シユテシダツシエ、フホエダリスムス」  
等級ノ封建ト稱スルモノナリ等級トハ貴族  
僧侶及都府ノ三等級ヲ云フ當時一般人民ヲ

シテ政事ニ與ラシムルヲ廢シ而シテ國王  
ノ左右ニ高位ヲ有スル重臣所謂領主ナルモ  
ノ相集テ政事ヲ議スルニ止マレリ其後ニ至  
テ「コトリツク」宗ノ僧侶ト獨立シタル都府此會  
議ニ與リ議政權ヲ有スルヲトナレリ  
此時ニ當テ初メテ總代ナルモノヲ設クルト  
トナレリ故ニ僧侶ハ其僧長即「ビシヨウフ」ヲ以  
テシ都府ハ其府長ヲ以テ總代タラシメ以テ  
議事ヲ開ケリ而シテ独リ貴族ハ自ラ出席セ  
リ



英国ノ彼ノ著名ナル「マグナカルタ」ノ如キモ亦タ  
此時代ニ起リタルモノナリ即チ今ヲ距ル  
大凡二百年前ニ在リ此書タルヤ英国「ヨハンオー  
子ランド」王其「バロ子」即貴族ニ向テ示後法律ヲ  
制定スルキハ必ス貴族ト共ニスベキヲ誓  
ヒタルモノナリ然ルニ上下兩院ニ於テ事ヲ  
議スルニ當テ「バルレー」即意想ヲ吐露シ所見ヲ  
論述スルヲ以テ其議院ヲ「パーラメント」ト稱スル  
ニ至レリ此時ヨリ法律ハ上下兩院及ヒ国王  
ノ承認アルニアラサレバ成立タサルモノト

定メタルナリ英国ニ於テハ此法律ヲ稱シテ  
「エタワット」ト云フ  
大陸ニ於テハ英国ノ有様ト異リ彼ノ「シエテ」  
デツシエ、エポツヒエ」等級ノ時世ニ當テハ貴族、僧侶、  
都府ノ三ツノモノ相會同シテ一國全体ニ係  
ル事件ヲ評議シタリトイハレ各土地ノニニ  
関スル法律ハ其地限り獨立シテ以テ制定シ  
タルモノナリ現今独逸帝国ト聯邦各国ニニ  
種ノ法律アルカ如キ是レナリ蓋シ當時何レ  
「スタート」國ヲ問ハス各成文憲法アリテ其封



王政府ノ推カヲ有スルヲ恰モ日本ノ封建時  
 代ニ諸侯カ各々勢ヲ張リ以テ大ナル推カヲ  
 有シタルト異ナルヲナシ  
 「ゲルマシ」ニ於テハ上陳三等級ノ集會ヲ稱シテ  
 「ライヒスタート」ト云ヒ澳國モ亦タ其中ニ在リタ  
 ルモノニシテ其三等級ノ上ニ「カイゼル」皇帝ア  
 リ奥國帝其皇帝ノ地位ニ在リタルモノニシ  
 テ恰モ現今普國王ガ独逸帝ノ地位ヲ兼タル  
 カ如シ  
 第三期ハ君主專制ノ時代ニシテ人民ノ政事

ニ參與セシムルヲ廢シ唯貴族ト僧侶トノ  
 政權ヲ掌握シ以テ天下ニ号令シ而シテ「  
 ユテンド」ノ關係スル処ハ「ロカール」即其地方ノ事  
 ノミヲ掌リタルモノナリ之レ仏國王「ハインリヒ」  
 第四世ノ時代ヨリ始マルモノトス  
 第三期ハ何レニ起因スルカト云フニ千七百年  
 ノ末仏國ノ大革命ヲ以テ始メトス此革命ヨリ  
 シテ王權ヲ廢シ等級ヲ止メ各人ノ自由同等ヲ  
 主張シ一般人民政事ニ與ルノ精神ヲ興起シタ  
 ルナリ然ルニ旧時ニ異リ「スタート」ノ廣大ナル人

女  
 現  
 德





民ノ夥多ナル之ヲシテ同一ニ會スルヲ得サ  
ルコ故ニ總代ヲ撰ミ以テ間接ニ政事ニ參與ス  
ルヲトナレリ

於是カ代議士ナルモノハ單ニ人民ノ多數ニ由  
テ撰擧スヘキカ將タ其資格財産及ヒ名譽ヲ有  
スルモノト他ノ人民トノ區別ヲナシテ投票ス  
ヘキカトノ問題ヲ生スルニ至レリ然ルニ其區  
別ヲナシテ撰擧スルハ徒ラニ多數ノ為メニ  
左右セラル、ノ憂ヒナシト虽モ一般ノ人民ニ  
參政ノ權利ヲ與フルト云フノ主義ニ違反スル

ヲ如何セン然ハ則人民一般平等ニ之ヲ與フヘ  
キカ徒ラニ無智人民ノ左右スル處トナリ云フ  
ヘカラザルノ弊害ヲ生セシ故ニ彼是權衡ヲ維  
持スルカ為メ一般人民ノ多數ヲ以テスル議會  
ト特別ナル資格ヲ以テスル議會トノ二ツヲ設  
立スルニ至レリ是則上下兩院ニシテ其結果ハ  
曩ニ述ヘタル歴史ヨリ成立タル英國ノ兩院ト  
恰モ符節ヲ合セタルモノ、如シ此時ヨリシテ  
歐洲大陸一般「ゲゼツ」法律ハ上下兩院ノ決議ヲ  
要シ君主ノ承認ヲ得タルモノニアラサレハ其

女  
見  
德

警  
社  
廳

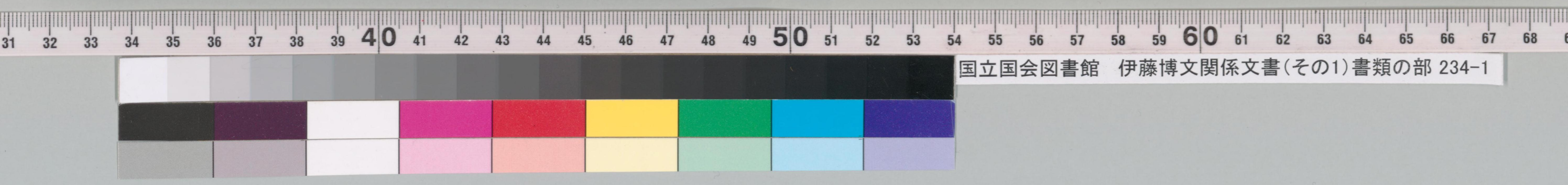




知カヲ有セザルモノトスルノ主義漸次行ナハ  
 ル、ニ至リタルモノトス  
 上院ノ三者即国主及上院下院會同シテ「スタート  
 国」ノ「ウイール」企望ヲ定ムルヲ「ゲゼッツゲーブングト  
 云フ然リ而シテ上院議員ハ国王ニ於テ之レヲ任  
 スヘキカ將タ人民ノ撰擧ヲ以テ之ヲ定ムヘキ  
 カ若クハ歴史上ノ經歷ニ由ルヘキモノナルヤ  
 ノ問題ヲ生スルニ至レリ是レ憲法上制定スヘ  
 キモノニシテ予ノ經驗ヲ以テスルキハ新タニ  
 憲法ヲ設クル国ニ於テハ此三ツノモノヲ混同

シテ上院ヲ組織スルコソ適當ナリト思考スル  
 ナリ  
 下院モ亦タ其撰擧權被撰擧權ヲ定ムルニ如何  
 ナル方法ニヨルカノ問題ハ必要ナリトス故ニ  
 此ニ撰擧權ノ「ヲ述フルニ當リ其區別ヲ分ツ  
 テニトス則其一ハ若干ノ財産ヲ有スルニマテ  
 サレハ撰擧人タル「ヲ得サルノ法ナリ之レ所  
 謂制限撰擧法ニシテ此撰擧權ニ要スル若干ノ  
 財産ヲ称シテ「ツェント云フ而シテ其一ハ一般  
 民丁年以上ノモノハ何人トイヘ氏議員ヲ撰擧

收  
 見  
 德

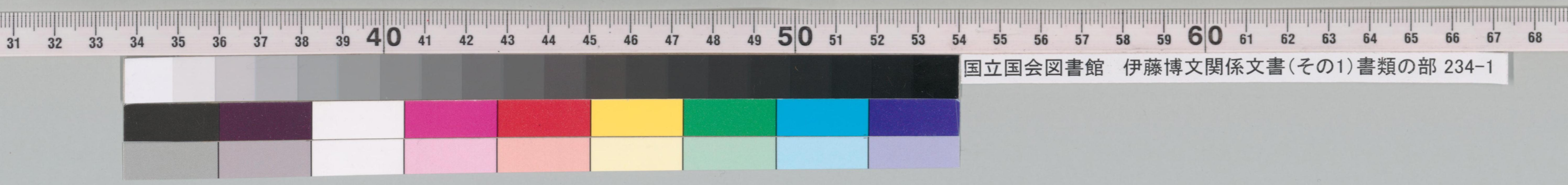




スルノ権ヲ有スルモノニシテ所謂無制限撰挙  
 法ナリ被撰挙権モ亦タ之レト同シク制限ト無  
 制限ノ區別アリ  
 右ノ如ク撰挙権ト被撰挙権ニ種々ノ區別アリ  
 故ニ其權利ヲ定ムルニオイトハ深ク顧ミサル  
 ヘカラサルナリ予ヲ以テ之ヲ見レハ新タニ憲  
 法ヲ制定スル国則日本ノ如キハ無制限ノ撰挙  
 法ニ憑ラスシテ撰挙権ヲ制限シ而シテ被撰挙  
 権ニ制限ヲ加ヘサルヲ善シトス如何トナレバ  
 撰挙権ヲ有スルモノハ相當ノ財産家ナラサル

ヘカララストスル片ハ無財産家ノ資格ナキモノ  
 ヲ撰挙スルノ道理アラサルヲ以テナリ  
 以上ノ講述ハ唯立法上ノ「オルガト子」即機關ノ組  
 織ニシテ未タ其働キヲ為スニ至ラサルモノナ  
 リ国主ト共ニ其働キヲ為スニ及ンテ初メテ「ゲ  
 ゼツツゲーブング」即立法ナルモノ起ルモノトス故ニ  
 立法院ハ獨リ其職務ヲ行ナヒ得ヘキモノニア  
 ラス必ス行政官ト相俟テ成立モノナレハ行政  
 権ハ實ニ立法権ニ與リ之レカ補助ヲナスモノ  
 トス故ニ立法院ノ職務ヲ知ラント欲セハ先ツ

收  
 見  
 憲





レギスラツト政府ノ何物タルヲ知ラサルハカラ  
サルナリ

レギスラツト政府ハ「スタート」国ノ「クラフト」機関ノ力ナ  
リ此機関ノ職務ハ政府タル自然ノ性質上ヨリ  
起ルモノニアラスシテ其「オブゼクト」即尽スヘキ  
實際ノ目的物ヨリ生スルモノニシテ其「オブゼクト」  
ノ繁多ナルニ隨テ政府ノ職務モ亦タ繁多ナル  
モノトス故ニ政府ナルモノハ立法院ノ企望ヲ  
實行スルモノナリト云フヘシ即此權ヲ稱シテ  
「ホルケターヘンデ、ゲウアルト」執行權ト云フ此執行權ニ

付テモ亦タ立法權ト同シク種々ノ歴史アリ曰  
時ノ所謂執行權ナルモノハ現今ノ執行權ト大  
ニ異ナリタルモノナリシカ學問上遂ニ現今ノ  
説ニ歸シ而シテ執行權ハ憲法中ニ在ルモノナ  
リト云フニ至レリ  
往古ハ別ニ国政ヲ主ル処ノ政府ナルモノナク  
唯国主ト人民アルノミ故ニ国王ノ「セルビエシテス」  
重臣タルモノ王ノ命スル処ニ由リ国政ヲ施行  
シタルモノニシテ別ニ人民ノ制定シタル法律  
ヲ執行スルノ官アラサリシ之レ其當時ノ執行





權ナルモノハ現今ノ執行權ト其意義ヲ異ニス  
ル所以ニシテ只タ腕カヲ以テスル兵カヲ執行  
權ト稱シタルモノトス故ニ國王ヲ以テ執行權  
ノ長ト稱セリ他ナレ國王ハ兵カノ上ニ位スル  
モノナルヲ以テ已レカ欲スル處ニ任セ其掌握  
スル處ノ兵權ヲ使用シタルモノナレハナリ  
然ラハ則レ「レギールンク」政府ヲ創設シタルハ何レノ  
キナルカ曰ク他國ヲ略取シタルキヲ以テ其鳩  
矢ナリト云フヘシ如何トナレハ國主ハ他ヨリ  
略取シタル土地ヲ支配センカ為其代人ヲ派遣

シ以テ政務ヲ管理セシメタルヲ以テナリ  
然ルニ「ゲルマン」ノ歴史ト共ニ新クナル説ヲ生セ  
リ何ソヤ曰ク「スタート」國ハ帝ニ人民ニ對シテ權  
利ヲ有スル而已ナラス亦タ義務ヲ有スルモ  
ノナリトノ説是ナリ之レ一般ノ形体上ニ止マ  
ラス精神上大ニ發明セシ處ノ説ナリ故ニ人民ニ  
對シテ義務アルニ於テハ其執行權ナルモノハ  
獨リ法律ノ命スル處ヲ執行スルニ止マラス自  
ラ人民ノ幸福安寧ヲ謀ル處ノ計畫措置ヲナサ  
ルヘカラサルモノナリト云フニ至レリ於是



初ノテ「レギールング」政府ノ必要ヲ悟リタルモノナ  
リ然ラハ則チ「ゲルマン」ノ主義ハ執行権ヨリ「レギ  
ルング」政府ヲ産出しタルモノナリト云ハサルヘ  
カラサルナリ而シテ其進歩ニ三期アリ  
第一期ハ「ゲリヒツプフレーゲ」司法ノ「」ニシテ其事務  
ハ宜シク政府ニ於テ之ヲ主管セサルヘカラサ  
ルモノナリトノ主義トナレリ故ニ其結果トシ  
テ司法ノ主権ハ国王自ラ之ヲ有シテ最高等ノ  
裁判官トナリタルモノナリ而シテ通常ノ裁判  
権ハ各領主ニ於テ之ヲ司リ其全体ヲ總括スル

処ノ裁判所ヲ設立シテ国王親ラ其長トナリ以  
テ通常裁判所ノ裁判ニ對スル不服ノ控訴ヲ受  
理シタルモノトス是則控訴院ノ起因ナリ  
第二期ハ国王其最上裁判官タルノ権利ヲ失ヒ  
而シテ各領主代ツテ之ヲ全有シ遂ニ全国ノ政  
治ハ一切領主ノ司トル処トナリ国王ハ唯其虚  
位ヲ有セシノモ然レモ人民ハ尚望ヲ国王ニ屬  
シ必スヤ国王ハ人民ノ為メニ作ス処アルヘ  
ト思惟シタルカ如シ  
第三期ハ国王其為ス所ヲ示シ以テ強盛ナルレ



ギールング即政府ヲ設立シ而シテ人民ノ企望ノ外  
尚「スタート」ノ「ウイール」企望ナルモノアツテ人民ハ  
此企望ニ服従セサルハカラサルモノナリト云  
フ主義トナリ遂ニ其政極端ニ走り人民ハ恰モ  
スタート「オブゼクト」目的物トナツテスタート「国ト  
人民ハ全ク分離シタルモノ、如キニ至レリ故  
ニ人民ハ更ニ「スタート」ニ對スル權利ナリ曰ク国  
王ハ親ナリ人民ハ子ナリ子タルモノハ親ニ對  
シテ權利ヲ有スヘキモノニアラス又曰ク国王  
ハ人民ノ後見人ナリ人民ハ恰モ未丁年者ニ均

シキモノナリ焉シソ未丁年者ニシテ後見者タ  
ル国王ニ従ハサルノ故アラシヤト此ニ於テカ  
「パトリアル」シヤリツシエル、スタート「即一ノ親族ト見做シ  
タル国ノ稱ヲ附スルトトナレリ然レモ政府ニ  
於テ人民ノ「アッレ」即世話ヲ為スニ於テハ其  
義務ヲ充シ得ル丈ケノ人物ナカルヘカラサル  
ヲ以テ其負擔スル處ノ専務上各研究スルヲ必  
要トスルニ至レリ之レ其官吏ヲ「バムテ」ト云フ  
所以ニシテ政府ハ人民ノ為ニスル處ノ義務  
ヲ充タス人ト云フノ意義ニ出テタルモノナリ

警視廳

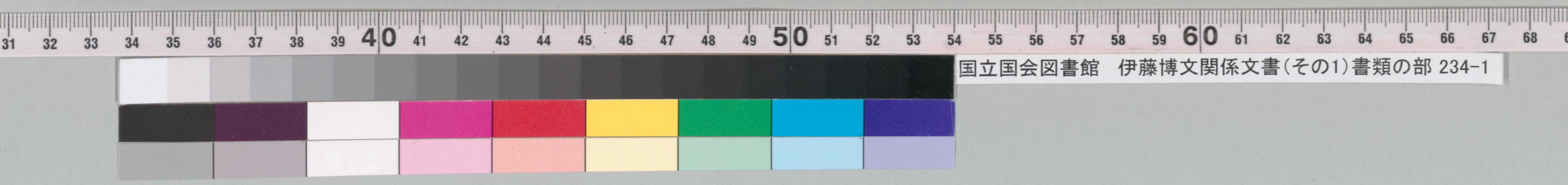
警見





故ニ何レノ国ヲ問ハス官吏ノ教育ヲ最大緊要  
ノトナシ而シテ其教育ハ羅馬法ヲ修ムルヲ  
始メトセリ抑々羅馬法ハ單ニ法律ニ関スルモ  
ノニシテ一般ノ政務ニ係ルヲ記載シタルモ  
ノニアラストイヘ凡官吏ノ教育上最モ必要ナ  
ルモノナルカ故ナリ此ニ至テ<sup>アムト</sup>官署ナルモ  
ノハ唯政府ノ<sup>ホルメル</sup>外形上ニ定メタル法式ニ  
依テ其職務ヲ行フノミナラス亦タ精神上ニ德  
義上ノ責任ヲ有スルヲトナレリ故ニ其管轄ス  
ル職務内ニ<sup>アツテ</sup>ハ所謂<sup>スタート</sup>ニ於テ人民ノ

進歩利益ヲ負擔スヘキモノニシテ拮据勉勵セ  
サルヘカラサルモノナリトノ精神ヲ生シタル  
ナリ  
旧時ノ<sup>アムト</sup>即官署ハ最初司法ノ事ヲ専ラニシ  
而シテ他ノ行政事務モ同シク司法官ニ委任シ  
タルカ如キ有様ナリ故ニ後世司法ト行政ノ區  
別ヲ明カニセントスルニ至テ大ナル困難ヲ生  
シタルモ蓋シ之レカ為メナリシ  
抑々官署ハ其<sup>コレバ</sup>職務區域ヲ甄別シタル  
モノニシテ之ヲ以テ<sup>レギールング</sup>即政府ヲ組織ス





ルノ基礎トシタルモノトス然ルニ官吏ハ偏ニ  
国王ノ機関ナリト云フノ主義ヨリ其進退黜陟  
等国王一人ノ望ヲ以テシタルモノナリ故ニ官  
吏ハ王家ノ家臣タルカ如キモノニシテ「キユニヒ  
リツシユ」王ノ官吏ト云フノ称呼ヲ以テシタル所  
以ナリ其結果タルヤ官吏ハ「スタート」ノ代理者タ  
ル国王トシテ任免スルニアラスシテ国王一個  
ノ望ヲ以テ任免シタルモノナルカ故ニ偏ニ国  
王ニ對シテ責任ヲ有スルニ止リ法律若シクハ  
人民ニ對スル責任ヲ有セザリシナリ而シテ人

民ハ国王ニ對シ訴詔ヲ為ス「ヲ」得サルヲ以テ  
国王ノ機関タル官吏ニ於テ其職務上如何ナル  
不法ノ「ヲ」ヲ為スト「イ」ハ「ヒ」之レニ對スル不服ノ  
訴詔ヲ為ス「ヲ」得ザリシナリ然レ「ヒ」前ニ述ル  
カ如ク官吏ハ各専門上ノ學問ヲナシ以テ負擔  
スル処ノ任ニ當ルカ故ニ人民ニ於テハ此官吏  
ナクシテ国事ヲ為ス「ヲ」能ハサルヲ悟リ官吏ノ  
行為ハ當ヲ得タルモノナリト思惟シ容易ニ言  
フ其間ニ容レザリシカ如シ以上ハ千七百年ノ  
末佛国大革命迄ノ有様ナリ





然ルニ大革命ノ後ニ至リ官吏ハ国王一ケノモ  
ノナリト云フノ主義ヲ一变シ官吏タルモノハ  
「スタート」<sup>ク</sup>国ノ官吏ニシテ君主ニ對スル責任ハ勿  
論法律上ニ對スル責任モ亦夕之レアルモノト  
ナシ以テ「ミニストル」大臣ヲ置キ以テ各職務ヲ分  
擔セシメ而シテ其擔任ノ行政上ニ於テハ各責  
任アルモノトスルニ至レリ故ニ大革命後「レギ  
ル」<sup>グ</sup>政府ノ「ホルメル」<sup>ル</sup>形体ヲ組織シタル第一着手  
ハ「ミニステリウム」<sup>ム</sup>省ナリト云フ勿論其以前ニマツ  
テモ亦夕「ミスストル」<sup>ル</sup>大臣ナルモノアリト虽モ這

ハ之レ国王ノ重臣ニシテ現今ノ所謂「ミニストル」  
大臣トハ大ニ其性質ヲ異ニシタルモノナリシ  
「ミニステリウム」<sup>ム</sup>省ナルモノハ前ニ述ヘタル「アムト」<sup>ル</sup>  
官署ナルヲ以テ其省ニ屬スル義務ハ悉ク之ヲ  
負擔セサルヘカラサルモノナリ旧時ノ官署ハ  
土地ノ區域ニ從ヒ各個ニ區別シタルモノナリ  
シモ現今ノ「ミニステリウム」<sup>ム</sup>省ハ全国一般ニ涉リ  
テ全国一般ノ企望ヲ執行スルモノナリト云フ  
精神ナルカ故ニ各大臣其執行上ニ付テハ責任  
ヲ有スルモノトス然ラハ則大臣ハ法律ノ機關

警見

警見





ニシテ自ラ法律ノ名ヲ以テ命令ヲ下スノ權ヲ  
有スルモノナリ此職務ヲシテ大臣ノ法律ニ對  
スル義務トス

以上述フル処ニヨレハ大臣ハ唯其法律ノ執行  
官タルカ如シ然レモ大臣ハ單ニ法律ヲ執行ス  
ルノ官ニアラスシテ其性質上独立シタル行政  
權ヲ有スルモノナルカ故ニ一般ノ幸福安寧ヲ  
謀ルニ於テ法律ノ足ラサル処アルモ大臣独  
立ノ企望ヲ以テ之ヲ補缺セサルヘカラサルナ  
リ此法律ヲ補欠スル処ノ企望ハ則「フエルオールド又

「<sup>ン</sup>グスレヒト」布令權ナリ故ニ大臣ハ其職務上ニ於  
テハ布令ヲ出スモ責任ヲ有シ布令ヲ出サハル  
モ亦夕責任ヲ有スルモノナリ  
「<sup>ニ</sup>」<sup>ニ</sup>ステリエシ<sup>」</sup>省ヲ設置スルニ當テハ其數幾許ヲ  
要スルカノ問題ヲ生スヘシトイヘモ此這ハ全ク  
實際ノ「<sup>」</sup>ツウエツクメーヒカイト」便宜ニ由ルモノナリ然  
レモ其欠クヘカラサルモノハ外務省、内務省、大  
藏省、兵部省、司法省、是ナリ而シテ事務ノ繁劇ナ  
ルモハ之ヲ分離スルコトヲ得例ヘハ内務省ヨリ  
文部、農商務、工部ノ諸省ヲ分置シ又兵部省ヲ分

警視廳

警見





ツテ陸軍省ト海軍省トナスカ如キ是ナリ  
以上ノ諸省大臣相集合シタルモノヲ「ゲザムテ」ニ  
スラリウム」内閣ト云フ是レ則「レギールング」政府ナリ  
故ニ第一「レギールング」ノ組織ヲ為スモノハ「ゲザムテ」  
「ミニステリウム」内閣ニシテ第二ハ各「ミニステリウム」省  
第三ハ「ベヒョールデ」官署ナリ其各省ト各官署ノ関  
係ヲ述フレハ各官署ハ各省ノ管轄ニ属スルモ  
「ミニステ」各省ハ各官署ニ向テ職務執行上ニ関  
スル訓示又ハ指令ツナスノ権アルモノトス而  
シテ各官署ハ各々ソノ「コレペテ」職務ニ権限

區域アルヲ以テ各省ハ亦タ各官署ノ「ファイル」ト  
一致ト「ハルモニー」因テ「ト」謀ルモノナリ故ニ各  
省ハ此精神ヲ以テ一般ニ布令スルノ権ヲ有ス  
ルモノトス此布令ヲ称シテ「ミニステリアール」フェルオ  
「ドヌング」省令ト云フ是レ則政府外形上組織ノ大  
畧ナリ  
右ノ如クナルヲ以テ「ゲセツゲ」ブング」法律ノ制定  
ハ「スター」ト」ノ最上ノ企望ヲ定ムルモノニシテ国  
主立法院及行政官ノ三者相俟ツテ成立モノナ  
リ故ニ法律ノ制定ハ独リ立法院ノ與リ議定ス





ヘキモノナリト断言スルハ未ク其理ヲ知ラサ  
ルモノトス蓋シ法律ハ必ス上陳三者ノ合同ニ  
ヨツテ初メテ成立モノニシテ其必要ヲ発見レ  
及ヒ其「オブゼリト」適用物ヲ定ムルハ政府ノ務メ  
ナリ如何トナレバ政府ハ人民ノ上ニ在テ常ニ  
人民ノ幸福安寧ヲ謀ルヲ職務トナスヘキモノ  
ナルカ故ニ其機關ノ耳目ヲシテ意ヲ實際ノ事  
情ニ注キ能ク之ヲ洞察知了スルモノナルヲ以  
テナリ之レ政府ノ性質上ヨリ生スル自然ノ職  
務ナリ

法律ノ必要ヲ発見シ法律ヲ起草スルノ職務ヲ  
「イニチアチーウエ」発意ト云フ蓋此発意ハ立法院トイ  
ヘトモ之レヲ有セサルニアラス何トナレハ議  
員ニ於テ法律ノ必要ヲ発見シタルモノアルハ  
ハ議會ノ同意ヲ得テ議會ノ「イニチアチーウエ」発意  
トシテ其草案ヲ政府ニ呈出スルヲ得ルモノナ  
レハナリ然レトモ之レ議會ノ本務ニアラサル  
ナリ故ニ政府ヲシテ「イニチアチーウエ」発意ヲナサ  
レムルコソ當然ノ道理ナリト云フベレ  
右ノ如ク法律ノ発意ヲ為スハ實ニ政府ノ重要

警見

警見





ナル職務ナリ然ルニ政府ハ各省ニ分ル、モノ  
ナルヲ以テ其擔任ノ行政上ニ係ル事件ハ其部  
下ノ各部長ヨリ報告ヲ為サシメ之レニヨツテ  
法律ヲ制定スルノ必要ヲ発見シ次テ其省掛負  
ヲシテ草案ヲ起サシメ之レカ調査ヲ尽シ次テ  
「ミニストル」之ヲ討議シタル後初メテ国主ニ上呈  
シ以テ國會ニ下附スヘキノ裁可ヲ得サルヘカ  
ラサルナリ以上ノ順序ヲ經テ其主任大臣ニ於  
テ國會ニ下附スルニ至テ初メテ立法院ノ職務  
トナルナリ故ニ其議案ヲ提出シタル大臣ハ自

ラ議會ニ臨ヒテ原案ヲ維持スルコトヲ努ムルモ  
ノナリ  
國會ノ議事上ニ要スル種々ノ法式アリ通常用  
ル処ノ順序ヲ述フレハ大臣ニ於テ法案ヲ議會  
ニ下附シタルキハ之レカ討議ノ前ニ於テ各政  
党中ヨリ其議案ノ調査委員ヲ出サシメ之レカ  
當否ヲ評議スルヲ以テ通式トス故ニ勢ヒ調査  
委員ノ可否スル所ハ議會ノ可否スル処トナル  
カ如キモノナリ然リ而シテ其議案中「スターツレ  
バ」レ國ノ生活ノ全体ニ関スル事件アリ則豫弄

政  
見  
議





案是ナリ

夫レ豫算案ニ係ル議事ハ當ニ政府ニ要スル金  
額ヲ議スルノミナラス其金田支并ノ方法ニモ  
干涉スルモノナリ何トナレハ國會ハ政府ノ歳  
入歳出ヲ議スルヨリモ寧ロ政府ニ於テ其金田  
ヲ收入スルノ行為如何ニ注意シ以テ其當否ヲ  
議スルモノナリト云ハサルハカラサレバナリ  
然ラハ則チ豫算案ナルモノハ其金額ヲ以テ政  
府各部ノ行政ヲ顯シタルモノニシテ議會ニ於  
テ其各章ヲ討議シ之ヲ決議スルハ政府ニ對シ

其金額支并ノ方法ヲ承認シタルモノト云フハ  
シ故ニ其豫算案ハ大藏大臣ヨリ提出ストイハ  
レ其實ハ各省ノ行政ヲ顯シタル処ノ法案ナリ  
ト云フモ不可ナキナリ而シテ法案ヲ下附スル  
ハ上下兩院何レヲ先ニスルカハ政府ノ隨意ナ  
リトイハレ豫算案ニ限り先ツ下院ノ議ニ付セ  
サルハカラス是レ各國普通ノ定則トス然ルニ  
上下兩院何レカ一方ニ於テ一ツノ法案ヲ議了  
シタルヲ以テ之ヲ他ノ一方ニ移シタルニ其決  
議スル処前院ト異ナルカハ之ヲ前院ノ再議ニ



付セサルヘカラス如此クスルヲ數次ニシテ兩  
院一致ノ決議ヲ得之ヲ始メテ國會ノ承認ヲ得  
タルモノトス

然レモ上下兩院ニ於テ法律ヲ議スルノ精神自  
ラ異ナル処アリ其一般ノ点ヲ述フレハ下院ハ  
重モニ現在ノ實効ヲ見ルヲ以テ目的トシ深ク  
未來ノ下院ヲ慮ラサルモノ、如シ上院ハ之レニ  
反シテ未來ニ實効ヲ望ムヲ本旨トスルニ似タ  
リ之ヲ再言スレバ上院ハ保守主義ニシテ法律  
ノ永續ヲ企望シ下院ハ自由主義ニシテ之ヲ變

更スル下院ヲ主張スルニ在リ故ニ上下兩院ノ議  
論相抵牾スルヲナキヲ保タサルナリ此場合ニ  
於テハ政府ハ其法案ノ取消シヲ為スカ若クハ  
君主ノ特權ヲ以テ下院ヲ解散シ更ニ議員ヲ改  
撰スルカ又ハ上院議員ヲ増加スルニアリ其細  
説ハ行政法ヲ講スルニ當テ詳述スベシ  
蓋上下兩院ノ既ニ議定シタルモノ立法院ノ承  
諾ヲ得タリトテ直ニ之ヲ以テ確定ノ法律ト云  
フ下院ヲ得ルニ國主ニ於テ認可スルニ及ビテ始メ  
テ法律ト稱スルモノナリ國主ノ之ヲ認可スル

警見

警見





「ガ」ンクチオン<sup>ト</sup>云フ此「ガ」ンクチオン<sup>ヲ</sup>表スルノ法式  
ハ各国同シカラズレテ或ハ「ガ」ンクチオン<sup>ヲ</sup>ナシタ  
ルモノナルカ否ヲ惑フカ如キモノアリ仏国ノ  
如キ是ナリ仏国ニ於テハ其法律ヲ公布スルニ  
當テ大統領之レニ記名スルニ過キス英國ニ於  
テモ亦タ國會ノ簿冊ニ記載シタリト書スルノ  
ミ然ルニ独逸及奧国等ハ國會ノ承認ヲ得テ之  
ヲ公布スト記載スルヲ法式トス予ヲ以テ之ヲ  
見レバ獨逸ノ法式ハ「フエルオールドスング」勅令ト「ゲゼ  
ツツ」法律トノ區別明確ナルヲ以テ之ヲ可トス

以上ハ立法上ノ法式ヲ概説シタルモノナリ  
右ノ如ク法律ハ「スタート」国一般ノ「ウイール」企望ヲ  
以テ定メタルモノトイハレ国家万般ノ「コ」ニ涉  
ラレムルニ遺漏ナキヲ保タサルカ故ニ法律ノ  
外尚其企望ヲ顯ハス処ナカルヘカラサルノ必  
要ヲ生スルナリ故ニ政府ハ常ニ法律ヲ執行ス  
ル而已ナラス一般ノ幸福安寧ヲ謀ルニ於テハ  
独立ノ権カヲ以テ其措置ヲナサハルヘカラヤ  
ルナリ是レ則政府一個ノ企望ニシテ一般ノ企  
望ヨリ成立タル法律ヲ倍ラニ在ルモノナリ而

警見

警見





シテ此權ヲ以テ出スル「フエルオールドヌング」布令ハ  
 国民一般服従スヘキ義務アルモノニシテ法律  
 ト同一ノ知カヲ有スルモノトス「フエルオールドヌング」  
 ニ「スターツフエルオールドヌング」閣令ト「ミニステリアールフエルオ  
 ルドヌング」省令トノ別アリ  
 省令ハ各省管轄スル行政上法律ノ足ラサル處  
 ヲ補ヒ或ハ法律ノ執行上全国ニ布令スルモノ  
 ナリ然レモ管轄ノ數省ニ涉ル事件ハ一省ニ於  
 テ布令スルヲ得ス此場合ニ於テハ内閣會議  
 ノ決議ヲ以テ布令スルモノトス此布令ヲ稱シ

テ「スターツフエルオールドヌング」閣令ト云フ  
 蓋布令ニ三アリ第一法律ヲ執行スルノ布令第  
 二「フエルワルツングス、フエルオールドヌング」行政上ノ布令第  
 三「ノートフエルオールドヌング」非常ノ危害ヲ豫防スル為  
 ノニ出スル處ノ布令是ナリ  
 第一ノ布令ハ執行上必要ナル場合ニ於テハ法  
 律ノ執行ヲ主ル機關ニ於テ其法ヲ定メ法律ニ  
 據テ其執行ヲ為スヘキ機關ニ命令スルモノト  
 ス此命令ハ通常多クハ地方長官ニ向テ發スル  
 モノニシテ地方長官ハ直ニ之ヲ人民ニ布令ス





警 補 庫  
ルヲアリ或ハ其下官ヲシテ布令セシムルヲア  
リ故ニ各省大臣ノ命令ハ唯其地方長官ニ向テ  
彼ノ事ハ右スヘク此ノ下ハ尤スヘシト指揮ス  
ルモノニシテ未タ「フエルオールドヌング」布令ト云フ  
ヲ得ス蓋シ各省長官ニ於テ直ニ人民ニ布令ス  
ルニ及ンテ始メテ「フエルオールドヌング」ト称スルナリ  
而シテ各地方長官ハ其執行官ヲシテ之レヲ執  
行ヲ為ヤシムルモノトス勿論此「フエルオールドヌング」  
布令ハ其一地方ニ止ルモノニシテ全国一般若  
クハ二州以上ニ渉ルモノハ各省大臣ヨリ直ニ

人民ニ布令シ而シテ警察官其執行ヲ為スモノ  
トス  
蓋執行上ノ命令ニ三アリ曰ク如此ク為スヘシ  
曰ク従来禁シタル其事ノ禁ヲ解クベシ曰ク或  
ル事件ヲ禁スル是ナリ而シテ警察上ニ係ルモ  
ノハ即「ポリツアイフエルオールドヌング」警察布令ニシテ警  
察令ハ必ス上陳三ツノモノヲ含有シタルモノ  
トス故ニ警察令ハ各罰金ヲ附加スヘキモノナ  
リ勿論全国一般ニ係ル警察令ハ各省大臣ヨリ  
出シ執行警察官之ヲ執行スルモノトス故ニ執



行警察官ハ憲法上ノ所謂執行ヲ掌ルモノニア  
ラスレテ行政上一人ニ對スル執行ヲ掌ルモ  
ノナリ

上陳ノ如ク「スタート」即国一般ノ「ウィーレ」企望ヨリ  
成立タル法律ト政府一個ノ企望ヨリ成立タル  
布令アリ此法律布令ハ何レモ最上ノ企望ヨリ  
成立タルモノナルヲ以テ常ニ一致ヲ要セサル  
ハカラサルナリ然ルニ若シ其一致ヲ失ヒタル  
キハ国ノ基礎ヲ乱スヲ以テ之レカ一致ヲ謀ル  
モノナカルヘカラス則チ之ヲ称シテ「フェルファツ

スングス、メーシーケ、レギールンクスレヒト」憲法ニ準拠シタ

ル政府ノ権利ト云フ

抑々政府ト立法院ト一致セシメ且ツ法律布令

ノ一致ヲ得ルハ憲法上ノ大主義ナリ之レ實ニ

近來ノ一大問題ナリトス此一致ヲ得セシムル

方法ヲ設ケテ相互ノ間ヲ円活ナラシムルヲ「ア

ェルフアツスングスレーベン」憲法ノ生活トス今如何ナ

ル政体ヲ以テ其円活ヲ得ルニ便ナルカト問ハ

「ハルラメレタリスム」議院政府ナリト答ヘサルヲ

得ス何トナレハ其主義タル政府ハ立法院ノ代





人トシテ成立モノナリト云フニ在リ言ヲ換ヘ  
テ言ハハ政府ハ多數ノ党派ノ為ニスル機關  
ナリト云フニ外ナラス故ニ政府ト立法院ノ  
活ヲ得ルニ易クシテ歐洲各國ノ政黨中多數ヲ  
以テ少數ヲ壓スルノ政事ヲ行ハントスルモノ  
ハ此議院政体ヲ企望スル所以ナリ  
右ノ如ク政府ト立法院ノ間滑ヲ保ツノ一方ヨ  
リ見ル片ハ議院政体ノ便ナルニ如カサルカコ  
トシトイヘ其弊害ニ至ツテハ其便素ヨリ償  
フニ足ラス故ニ議院政体ノ主義決シテ取ルハ

カラサルナリ夫レ議院政体ナルモノハ政黨ノ  
多數ヲ以テ政府ヲ組織シ又タ政府カイニテマ  
ウエレ即衆意ヲ為スモ法律ヲ定ムルモ皆多數ヲ  
以テシ而シテ行政モ亦タ多數ヲ以テスルモノ  
ナルカ故ニ多數專制ト云フヘキモノニシテ少  
數ノ意見ハ如何ナル国民福祉タルモ之ヲ果タ  
ス能ハス唯其多數ニ抗抵スルノミ而シテ其多  
數ヲ代表スルモノハ帝ニ各省大臣ニ止マラス  
勢ニ各部ノ長官モ亦タ多數ヲ代表スルノ主義  
ヲ以テ政務ニ與ルカ故ニ其多數一朝変シテ少

警見





數トナリタルハ大臣ヲ初メ其他ノ高等官ニ  
至ル迄共ニ進退セサルヘカラサルニ至ルハ勢  
ヒノ免カレサル処ナリトス而シテ此多數代表  
ノ政事ハ各大臣ヲ初メ其他ノ高等官ニ於テ精  
神上其責ニ任シテ務メヲ尽スモノニアラス何  
トナレハ多數ノ企望ハ国民福ニ背キタルモ  
ノナリト信スルモ之ヲ代表シ少数ノ企望ハ如  
何ナル善良ノトイヘヒ之ヲ実行スルヲ能ハ  
サルモノナレハナリ之レ英米等ノ制度ニシテ  
官職ノスタートニ害ヲ與フルヲ實ニ云フニ忍ヒ

サルモノアルナリ  
蓋多數ナルモノ常ニ善良ナルキハ不可ナシト  
イヘヒ何等ノトニ関セス時アツテ少数ノ多數  
ニ優ルヲナシトセス然ルニ議院政体ハ僅ニ一  
二ノ數ヲ以テ勝敗ヲ決スルモノナルカ故ニ政  
府ハ徒ラニ其數ニ制セラレ仮令國ノ不是ナリ  
ト信スルモノアルモ勢ヒ多數ノ望ム処ヲ実行  
セサルヘカラサルハ前ニ述ヘタルカ如シ之ヲ  
約言スレハ議院政体ハクワシテト數ヲ以テク  
ワリテト性質ヲ支配スルモノナリト云フベキ





ナリ  
又夕党派ナルモノ意見ヲ同シ以テ多數ヲナス  
キハ不可ナシトイヘキ或ハ利益ヲ同ウスルカ  
為メニ多數ヲ為スヲ免カレサルアリ故ニ政府  
ノ高官トナルモノハ利益ヲ得ルノ道ヲ知リタ  
ル者ニアラサレハ其地位ヲ占ムルヲ能ハサル  
ナリ是ヨリシテ此政体ノ實際ニ顯ハル、処ノ  
結果ハ屢々良心ニ戾ルヲナシ智ヲ以テ巧ミ  
ニ之ヲ蓋フニ在リ而シテ大臣ニ責任アリト云  
フトイヘキ唯形ナ上ノ責任ニシテ已レカ信ス

ル処ノ精神ヨリ生スル責任ニアラス何トナレ  
ハ其官職ノ名ヲ以テスル処ノ行政ハ其官吏ノ  
ウイール<sup>1</sup>企望ヲ以テ行フモノニアラスシテ多數  
党派ノ企望ヲ代表スルモノナルヲ以テナリ之  
レ議院政体ノ結果ニシテ一般ノ憲法政治中最  
モ恐ルハキモノナリト云ハサルハカラサルノ  
リ  
上陳ノ如ク議院政体ノ政事ハ總テ議員党派ノ  
多數ニヨルモノナルカ故ニ国王ハ議員ノ推撰  
シタル宰相ヲ待タサルハカラサルコトナリタ





ルナリ蓋「コンスチテオンナリスム」即君主主義ノ立憲  
政体ニ於テモ亦タ或ハ政党多數ノ為ニ進退  
スルナリトセス故ニ物ノ天然ヨリ論スルハ  
ハ議院政体ト異別ナキカ如シトイヘ凡抑又議  
院政体ハ党派ノ多數ヲ以テ政府ヲ組織スルカ  
故ニ或ル場合ニ於テ大臣已レノ責任ヲ避ケル  
カ為メ其職ヲ退ク片ハ勢ヒ延テ各省全体ヲ改  
ムルモノナリ然リ而シテ「コンスチテオンナリスム」君  
主主義ノ立憲政体ニ於テハ其責任ヲ負フヘキ  
大臣ノニ交代スルモノニシテ毫モ他ノ官吏ニ

影響ヲ及ホサレモナリ  
故ニ立憲国ニ於テ最モ尽サレハカラサルモ  
ハ官吏ヲシテ充ルニ教育ヲナサシメ國王一  
個ノ企望ニ因リ其進退ヲ為サス又タ議會ノ多  
數ヲ以テ之ヲ左右セシメス独リ裁判官ノ判決  
ヲ以テスルニアラサレハ之ヲ免黜スル能ハス  
ト云フ堅固ナル地位ヲ有セシムルヲ緊要トス  
之レ堅牢ナル「スターウヂ」官吏ノ推利ヲ以  
テ恐ルヘキ議院政体トナルノ弊害ヲ豫防スル  
モノナリ苟クモ然ラズシテ政党ノ多數ヲ以テ



政府ヲ組織シ高等官ハ皆多數ノ企望ヲ行フモ  
ノトスルキハ全国到ル処ニ三多數ノ為メニ左  
右セラレ少数ハ當ニ其多數ノ下ニ屈スルノミ  
ナラス政府一朝多數ノ党派ヲ失シテ少数トナ  
リタルキハ其跡ヲ減シ更ニ多數ヲ以テ政府ヲ  
組織スルコト故ニ政府ノ精神モ亦タ常ナキナリ  
故ニ内ハ国内ノ安寧ヲ謀ル能ハスシテ外ハ国内ノ  
威信ヲ示ス能ハス之レ議院政体ト君主主義ノ  
立憲政体ト同レカラサル所以ナリ  
君主主義ノ立憲政体ト議院政体トノ別右ノ如

シ故ニ官吏ノ教育法ヲ充ルナラシメ以テ善良  
ナル官吏ヲ有スル国内ノ議院政体ノ行ハレサル  
モノナリ蓋党派ノ為メニ使役セラレサル所ノ  
堅牢ナル政体ノ基礎トナルハキ官吏ヲ養成ス  
ルハ大學校ノ務ノナリトス故ニ大學校ハ政事  
上ニ関シ緊要ナル目的ヲ有スルモノニシテ唯  
其學術ノミヲ教授スルヲ以テ目的トスルモ  
ノハ未タ其目的ノ半途ナルモノニシテ完全ナ  
ル主義ヲ備ヘタルモノナリト云フコトヲ得サル  
ナリ然ラハ則大學校ハ學問ヲ修ムルト共ニ人

警  
見  
德

警  
見  
德



ノ名譽ヲ擧クル処ニシテ其教官タルモノモ亦  
タ自ラ金錢ヲ貴シトセスシテ「スタート」一般ノ為  
ノニ名譽心ヲ以テセサルヘカラサルナリ即往  
古大學校ノ教官タルモノハ名譽上他ニ比類ナ  
キモノナリシ之レ學問ハ利益ヲ知ラスト云フ  
精神ヲ以テ尽シタルカ故ナリ故ニ官吏ノ教育  
法ヲ充分ナラシメテ以テ善良ナル官吏ヲ有スル  
國ニ有ツテハ議院政体ハ行ハレサルモノトス  
然ルニ議院政体ノ政党ニ二種アリ一ツハ政事  
上ノ意見ヲ同スルヨリ成立タルモノニシテ其

數ヲ増加スルコトニ汲々セズ自ラ意氣相投スル  
者ノ團結シタルモノトス其一ハ頭數ヲ以テ成  
立タルモノニシテ種々已レテ利スルハ主義ヲ  
混合シ一定ノ主義トスル処ナキモノナリ故ニ  
第一ノ党派ハ政事上ニ妨害少ナシト虽モ第二  
ノ党派即徒ラニ頭數ヲ以テ成立タルモノハ其  
弊害少ナシトセサルナリ以上ハ「フエルファツス」グス  
「ベン」憲法ノ生活ニ関スル「ト」ニシテ大臣ノ責任  
ヲ説クニ當リ其大概ヲ講シタルモノトス  
抑々「ミニスト」大臣ノ責任ハ政事上ノ思想ノ如何



ニアルモノニアラスシテ其行為ノ如何ニ在ル  
モノナリ然ルニ議院政体ニ於テハ未タ其行為  
ノ如何ヲ見ルニ至ラスシテ其思想ノ如何ヲ察  
シテ進退スルニ在リ故ニ大臣ノ責任アリト云  
フトイハレ其實之レナシト云ハサルヘカラス  
之レニ反シテ「コンスタンナリス」君主主義ノ立憲  
政体ハ一種特別ノ性質ヲ具有スルモノニシテ  
仏国大革命以來同国等ニ行ナハルニ処ノ政府  
ノ如ク政府ハ法律ノ執行ノミヲ掌ルモノナリト  
云フノ主義ニアラスシテ尚其他ニ政府獨立ノ

職權ヲ有スルモノナリトスルニ在リ  
佛国等ニ於テハ何故ニ當時政府ハ職權ヲ制限  
センコトヲ之レ努メ以テ其制限ヲ狹隘ナラシメ  
タルカト云フニ立法權ト行政權ト常ニ軋轢ヲ  
生シタルカ故政府ヲシテ立法權ニ従ハシメ而  
シテ政府ハ法律ノ執行ノミヲ掌ルモノナリト  
スルヲ得策ト思惟セシヨリ軍ニ「子ガチーフ」危害  
ヲ豫防シ安寧ヲ保持スル処ノ主義ニ出テタル  
モノナリ然レモ亦タ立憲政ニ進歩ヲ促シタル  
モノアリ何ッヤ大臣ハ責任ヲ有スルモノナリ



トノ議論ヲ生シタル是レナリ然リ而シテ最初  
ハ唯責任アリト云フ感覺ノミニシテ足レリト  
シタルモ更ニ考案ヲ進メ以テ大臣ノ責任ヲ浸  
シタルモノヲ有罪ト為スニ至レリ此ニ於テ立  
法権ハ行法権ノ上ニ裁判権ヲ有スルモノトシ  
其組織手續等ハ漸次ニ之ヲ設ケ以テ立法院ヲ  
シテ行政官ヲ管轄スル処トナセリ然ルニ大臣  
ヲ公訴シ而シテ之ヲ裁判スル裁判官ハ如何ナ  
ル人ヲ以テ組織スルカト云フニ通常上下議院  
ニ於テ裁判官ヲ撰擧シ尚之レニ高等裁判官ヲ

加ヘテ組織ス之ヲ「スターツゲリヒツホーフト」云フ而シ  
テ其裁判所ニ於テ決裁シタル事件ハ立法院ニ  
提出シ其承認ヲ得ルニアラサレハ裁判確定ニ  
至ラサルモノトセリ勿論此裁判上ニ於テハ如  
何ナル宣告ヲモ為スヲ得ルモノニシテ仏國  
ニ於テハ曾テ大臣ヲ死罪ニ處シタルヲスラ之  
レアルナリ  
新クニ憲法ヲ制定スル國ニ於テハ注意セサル  
ヘカラサルヲアリ何ヲヤ曰ク大臣ハ責任ヲ有  
スルモノナリトイハレ憲法上ニハ唯大臣ハ責



任アルモノナリト單記シ其ヶ條ハ特別ノ法律ヲ以テ定ムルト是レナリ若シ然ラズシテ大臣ノ責任法ヲ憲法ニ細記スルカ如キトアラハ大臣ハ其職權ヲ活動スルヲ能ハサレハナリ九ソ大臣ノ責任ハ如何ナル場合ニ之ヲ負フモノナルヤハ實ニ重要ナル問題ナリトス蓋シ最初ハ唯大臣責任アリ其責任ニ背キタルキハ之ヲ裁判スヘシト云フニ止マリ如何ナル場合ヲ以テ責任ニ背キタルモノトスルカハ分明ナラザリシ今仮リニ立法院ニ於テ政府ノ行為ニ滿

足セス其間ニ紛議ヲ生シタルハ責任アリトセシカ政府ト立法院トノ間ニ紛議ヲ生シタリトテ必ス政府ノ曲ナリト云フコトヲ得サルカ故ニ之ヲ以テ直ニ大臣ノ責任ナリト云フコトヲ得ス然ラバ則何ヲカ大臣ノ責任ト云フヤ曰ク直接ニ現行法律ニ違反シタル布令ヲ出シタルキニ始ルモノトナセリ但普通ノ罪ハ立法院ノ関スル処ニアラス今歴史上ヨリ之ヲ考フルニ大臣ノ責任ハ蓋シ大藏ノコトニ関スル事ヲ最モ多シトス英國ノ如



キハ前百年紀ニ於テ屢々大臣ヲ裁判スルヲア  
リシ而シテ大陸ニ於テハ千八百三十年仏國ノ  
革命ノ如キ大臣ノ責任ト云フヲニ原因シタル  
モノニシテ政府ノ「フエルオールドニング」布令ヲ以テ現  
行出版條例ヲ中止シタルニ起因セリ此時ヨリ  
シテ君主ハ政事上ノ「」ニ責任ヲ有セス大臣代  
ツテ其責ニ任スルコトナリタルナリ故ニ大  
臣ノ責任殆ント確定シ執行上ノ布令苟モ成文  
法律ニ違反シタルハ大臣ヲ裁判スヘシト云  
フニ至レリ

然リトイヘニ政府ノ行政ハ裁判官ノ法律ニ因  
テ以テ事件ヲ裁判スルト異ナリ人民ノ幸福ヲ  
増進シ安寧ヲ保護スルニ於テハ實際ノ場合ニ  
ヨツテ其布令命令訓示等各宜キヲ異ニスルヲ  
免カレサルモノナリ然ルヲ其都度法律ニ違反  
シタルモノナリトスルハ政府ハ唯法律ノ執  
行官ニシテ人民ノ幸福安寧ヲ謀ルニ其足ラサ  
ル処アルモ之ヲ裨補スル能ハス政府ハ恰モ法  
律ノ看守人ノ如キモノナラン故ニ立憲政体ノ  
精神ヲ發達セシメ漫リニ大臣ヲ罰スルヲナク



又々大臣ニ於テ其職務ヲ誤ル<sup>レ</sup>トナカラシムル  
ノ考案ヲ生スルニ至レリ  
夫レ<sup>レ</sup>「レギールンク」政府ハ立法院ト同シク「スタート」国  
ノ企望ヲ果シ一般ノ幸福安寧ヲ謀ルモノナリ  
故ニ苟クモ法律ノ足ラサル処ハ之ヲ裨補シテ以  
テ公益ヲ謀ラサルヘカラス之レ則政府天然ノ  
性質ニシテ之ヲ以テ法律ニ抵触シタリトシテ  
罰スル<sup>レ</sup>トヲ得ヤルナリ於是カ其責任ヲ犯シタ  
ルヤ否ヤハ特ニ實際ノ事情ヲ調査セサルヘカ  
ラスト云フ説ヲ生スルニ至レリ此説タルマ實

ニ立憲君主政体ノ精神ヲ發達セシメタルモノ  
ニシテ「スタート」国ノ企望ヲ實施センカ為メニハ  
政府ハ立法院ト同一ノ目的ヲ以テ一般ノ幸福  
ヲ謀リ以テ独立ノ職務ヲ行フモノトナセリ故  
ニ政府ト立法院トノ間常ニ和熟セサレハ「スタ  
ート」ノ不幸タル論ヲ俟タサルナリ然リトイヘト  
モ政府ニシテ唯夫レ立法院ノ意ニ悖ラサラン  
トテ是レ事トスルハ恰モ立法院ニ阿諛隸属  
スルモノ、如クニシテ唯其法律ヲ執行スルヨ  
リ外為<sup>ス</sup>ヘキナシ如此キハ「スタート」ノ幸福ヲ謀



リ安寧ヲ保護スルニ足ラサル亦夕言ヲ俟タサ  
ルナリ故ニ法律ノ足ラサル処ハ其責ニ任シテ  
政府独立ノ企望ヲ行ハサルハカラサルナリ  
此趣意ニ由テ政府ト立法院トノ「ハルモニー」一致ヲ  
得シトテ考慮シタルニ政府ハ多數ノ企望スル  
処ヲ行フモノトスルト是レナリ然ルニ此主義  
ハ所謂議院政体ニ引誘セラル、ノ嫌ヒナキヲ  
免カレズ何トナレハ道理上ヨリ論スルキハ多  
數ノ企望ハ利益ヲ含ムト多シトスル通則ナリ  
ヲ以テ之ヲ採用セサルハカラストイヘドモ前

ニ述ハタルカ如キ弊害アリテ却テ少數ノ多數  
ニ優ルトナシトセサレハナリ其ハ  
希臘ハ現今國ノ危難ニ當リ大臣其責任ヲ  
避ケシカ為メ職ヲ退キタルヨリ國會ノ多數  
ヲ以テ推シテ政府ヲ組織スルニ至レリ是レ  
則チ利益ノ異ナルモノ多數ヲ占メ以テ政府  
ヲ組織スルモノナレハ國ノ政府ニアラスレテ  
其實徒党ノ政府ナリト云フハキナリ故ニ政  
府ト立法院ノ「ハルモニー」一致ヲ保ツニ偏ニ多  
數ニ依ルモノトスルハ不可ナリトス英國ノ



如キハ政府ニ於テ法律ノ「イニチアチーウエ」発意ヲ  
ナシテ議會ノ多數ヲ得サルハ大臣ハ多數ノ  
企望ニ背キタルモノトシテ其職ヲ退カサルハ  
カラサルヲ以テ君主ハ更ニ多數ノ望ニ依テ政  
府ヲ組織セサルハカラサルナリ此ニ至テ必要  
ナル君主ノ職務ヲ生スルナリ其必要トハ何ソ  
マ曰ク其多數ナルモノハ果シテ真正輿論ノ多  
數ナルハ否ヲ明カニスル是レナリ然ルニ君主  
ニ於テ其多數ナルモノ果シテ真正輿論ノ多數  
ニアラサルトヲ了知シタルハ君主ハ議會ヲ

解散シテ議員ヲ改撰セサルハカラス之レ則チ  
君主ノ權利ニシテ之ヲ實行スルハ誠ニ容易ナ  
ラサルナリ故ニ能ク輿論ヲ洞察スヘキハ君  
主ノ最モ必要ナル職務トス  
立法院政府ノ議案ニ反對シタルハ通常如何  
ナル手段ヲ用ルカト云フニ政府ハ我カ望ム処  
ヲ更メ以テ其決意ヲ議會ニ示シ而シテ議會ハ  
思ヒテ之ヲ許スヤ否其意見ヲ試ミルモノトス  
然ルニ議會ハ尚政府ノ望ム処ヲ許サルカ之  
レ則現政府ヲ不可ナリト云フ証拠ナルヲ以テ



大臣ハ其職ヲ退クカ或ハ国王ニ於テ議會ヲ解  
散シ議員ヲ改撰スルニ外ナラサルナリ然ラハ  
則君主權ヲ行フヘキヤ否ハ再議ノ初メニ萌芽  
スルモノトス  
然リ而レテ其否決シタルモノ豫算ナルキハ如  
何ナル結果ヲ来スヤノ問題ヲ生スルナラシ此  
場合ニ於テハ政府ノ事業上ニ要スル費用即チ  
陸海軍ヲ擴張シ若クハ鐵道ヲ布設スル費用ノ  
如キ或ハ之ヲ中止スルヲ得ヘシトイヘル一ケ  
人ニ對スル契約假令ハ議會ノ承認ヲ得タル国

債ノ辨償又ハ官吏ノ俸給ノ如キハ之ヲ支辨セ  
サルヲ得ス如此キハ曩ノ決議ニヨリテ徴收シ  
而レテ政府ハ唯從來ノ秩序ヲ維持スルノミホ  
ク更ニ事業ニ着手スルヲ得サルナリ  
然ルニ議會ニ於テ「レギスレーション」政府ノ  
計畫スル処ヲ否決シタルモ政府ハ之レニ關セ  
ズ我企望スル処ヲ断行シタルキハ如何ントノ  
反對ナル問題ヲ生スルナラシ此ニ至テ始メテ  
大臣ヲ裁判スルト云フニ至ルナリ之ヲ「コンフリ  
クト」或ハ「レニハイエルベウイグングスレヒト」ト云フ故ニ



一ニストルノ憲法上ノ責任ハ其場合ニテ唯感スヘ  
 クシテ如何ナル処為テ責任ニ背キタルモノト  
 規則立ルヲ得サルナリ故ニ其議論ノ生スル  
 ト否ハ立法ト行政ノ間ト滑ナルト否ヤニアリ  
 ト云ハサルハカラサルナリ  
 右ノ外「ハフツング」ナルモノアツラ大臣ヲ始ノ其他  
 ノ行政官法律ヲ執行スルニ當リ其布令若クハ  
 行為現行法律ニ違反シタルハ裁判上之ヲ責ム  
 ルトアリ蓋「ハフツング」ハ政府ノ全体ニ関スルモ  
 ノニシテ警察官ニモ亦之ヲ適用スルモノト

ス之レ立憲政ニ特別ナル性質ヲ與ヘタルモノ  
 ナリ故ニ此「ハフツング」ナルモノハ未タ憲法ナキ  
 国ニ於テハ之レアルヘキ道理アラス如何トナ  
 レハ君主專制ノ国ハ法律ノ名アリトイヘ其  
 實法律ニアラスレテ布令ナルヲ以テナリ日本  
 ノ如キモ憲法ヲ制定シタル後ハ此「ハフツング」ヲ生  
 スルニ至ルハキナリ  
 君主專制ノ時代ニ於テハ下等官吏ニ於テ法律  
 ニ違反シタル執行ヲ為スト虽其官吏ヲ相手  
 取裁判所ニ訴ル能ハス唯其執行ニ對シ上官ニ

警視廳



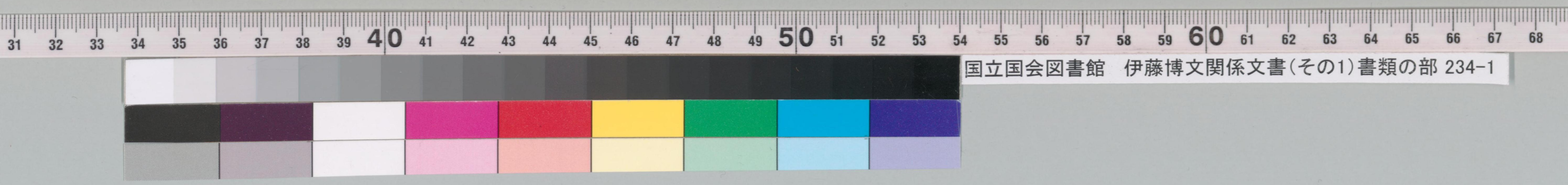


哀訴歎願ヲ為スニ止ルノモ何トナレハ其官吏  
ノ所為ハ即政府ノ企望ナリトスルカ故ナリ然  
レモ下等官吏ノ行為上等官吏ノ企望ニ背キタ  
ルトナレトセス故ニ其上官ニ向テ哀訴歎願ス  
ルトヲ得之ヲ稱シテ「ベシユウエルデ」ト云フ之レ決  
レテ其官吏ハ法律上ニ背キタル罪アリトテ訴  
フルニアラス只其執行ハ法律ニ背キ如此キ不  
幸ヲ蒙ルカ故ニ其執行ノ取消ヲ哀訴歎願スル  
ニ過キヌ而レテ上官ハ下官ノ執行ヲ至當トシ  
其哀訴歎願ヲ理由ナシトスルカ或ハ執行ヲ不

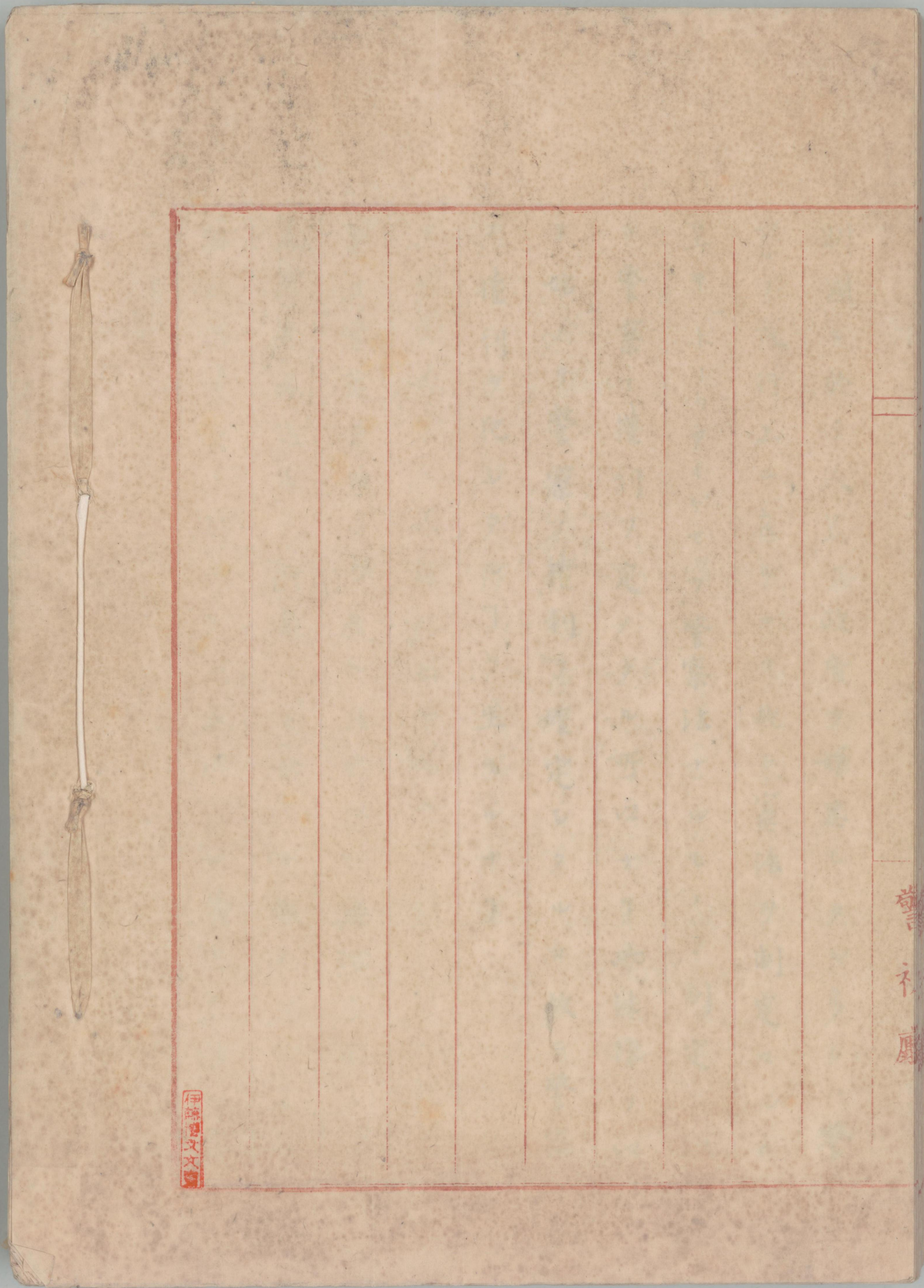
當トシテ之ヲ改ムルカ此ニ途ニ出テス之レヲ  
裁判上其當否ヲ判決スルモノニ比スレハ其性  
質大ニ異ナルモノナリ故ニ行政裁判ノ設ケナ  
キハハ上官ノ主義放任ニ在ルトテ下官ニ於テ  
察知スレハ自由我儘ノ執行ヲ為スコトアルヲ免  
レス人民ノ政府ヲ嫌惡スルハ常ニ此ノ点ニ在  
リ  
上陳ノ有様ヲ稱シテ「フエルワルツングスエスチーツ」ト云  
フ即行政官自ラ司法權ヲ行フト云フ意ナリ之  
レ最モ深ク警察上ニ關係ヲ有スルトニシテ專



制國ニ於テ人民ノ政府ヲ嫌惡シタル多クハ警  
 察ノ執行上ニ在ルナリ故ニ憲法ヲ制定スルニ  
 至テ「ポリツアイゲセツ」警察法ナルモノヲ制定シ以  
 テ警察ノ權利ヲ定メタル所以ナリ此法律ヲ以  
 テ始メテ警察ノ權利ヲ確定シタルカ故ニ警察  
 ノ權利ヲ犯シタルヲ生スルナリ

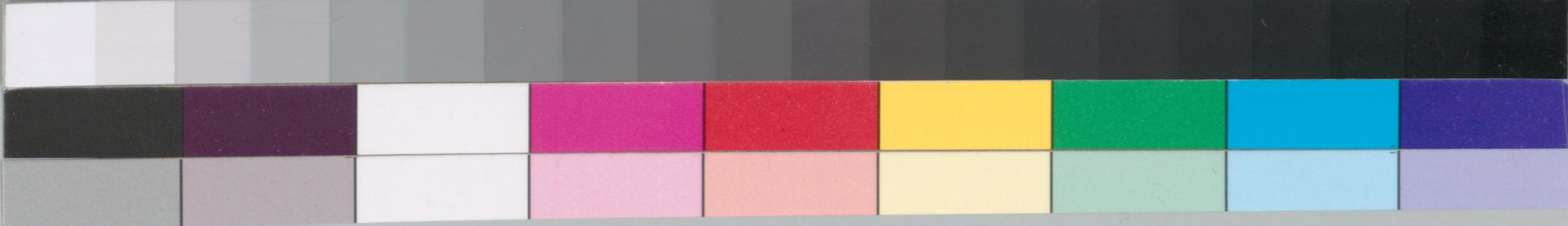
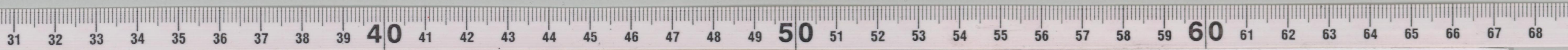






警  
社  
庫

伊藤博文文庫



国立国会図書館 伊藤博文関係文書(その1)書類の部 234-1